

# 活動報告書 2025-2026



# ごあいさつ

## 理事長 太田 敏夫

(セブン-イレブン富士吉田おひめ坂通り店オーナー)



セブン-イレブン記念財団は、1993年11月、株式会社セブン-イレブン・ジャパンの設立20周年記念事業として、同社および加盟店が一体となり「環境」をテーマに社会貢献活動へ取り組むことを目的として設立されました。セブン-イレブン店舗にてお客様からお預かりした募金に加え、株式会社セブン-イレブン・ジャパンをはじめ、企業・団体・個人の皆様からのご寄付をもとに、「環境市民活動支援」「自然環境の保護・保全」「災害復興支援」「広報」の4つの領域で活動を行っております。

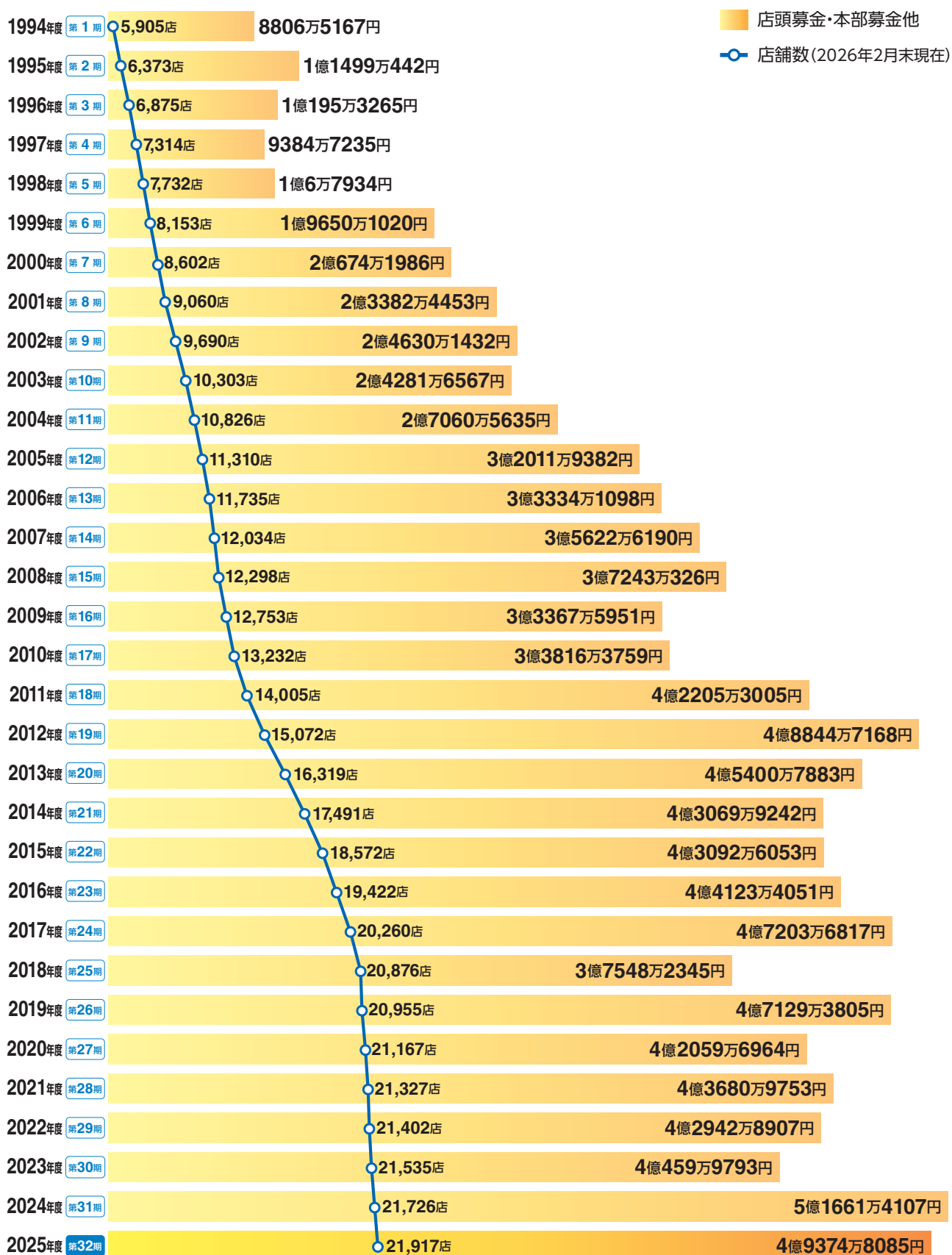
近年、国内外で異常気象や生態系の変化が顕在化し、自然環境の保全をめぐる課題は一層深刻さを増しております。災害リスクの高まりや資源循環への意識の向上など、環境を取り巻く状況は大きな転換期を迎えております。こうした状況を踏まえ、当財団としても持続可能な社会の実現に向けて地域と協働し、環境保全に取り組むとともに、「自然共生（ネイチャーポジティブ／生物多様性）」の実現に寄与する活動を推進してまいります。

2025年度は、当財団が東京都八王子市で運営する「高尾の森自然学校」のフィールドが新たに環境省より自然共生サイトとして認定され、生物多様性の保全に資する場としてその価値が認められました。今後も自然と人が共生する環境教育の拠点として、より一層の役割を果たしていく所存です。

セブン-イレブン記念財団は、これからも次世代へ豊かな未来をつなぐため、環境市民団体や地域の皆様、セブン-イレブン加盟店および本部と力を合わせながら、活動のさらなる充実を図り、地域に根ざした社会貢献活動を推進してまいります。皆様のより一層のご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。

# 募金額の推移

第1期から第32期までの募金総額 **106億3764万9820円**



# 募金の流れと事業図



店頭募金箱に寄せられた  
お客様からの募金



「マッチングギフト  
制度」による  
セブン-イレブン  
本部からの寄付金



キャッシュレス  
決済で寄せられた  
お客様からの募金

個人や企業・団体の  
皆様からの寄付金・募金

- ◆セブン銀行ATMを  
利用した募金
- ◆(株)セブン・カードサービス
- ◆(株)クオカード
- ◆電子マネー nanacoの  
ポイント募金

他多数



一般財団法人

セブン-イレブン記念財団

加盟店オーナー代表

セブン-イレブン本部代表

## 自然環境保護・ 保全事業

- セブンの森・海の森
- 九重ふるさと自然学校
- 高尾の森自然学校

写真:青森セブンの海の森

## 環境市民活動 支援事業

- 環境市民活動助成
- 環境NPOリーダー支援

写真:桶ヶ谷沼を考える会

## 環境をテーマにした 社会貢献活動

## 災害復興支援事業

- 東日本大震災復興支援
- 自然災害復興活動
- 義援金募金活動

写真:一般社団法人RQ災害教育センター

## 広報事業

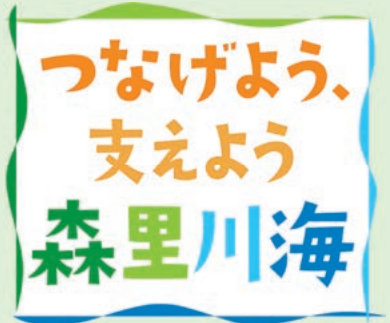
- 環境イベント支援
- 広報誌『みどりの風』
- ホームページ
- SNS

\*店頭の募金箱による受付に加え、PayPayを通じたキャッシュレス募金にも対応いたしました。  
これにより、より便利にご支援いただける環境を整えております。詳しくは右記二次元バーコードより→



# 日本の美しい自然を 次世代に引き継ぐために

日本の四季折々の美しい自然や貴重な生態系を次世代に引き継ぐために、さまざまな団体と協力して保護・保全活動を推進するとともに、自然学校を運営しています。

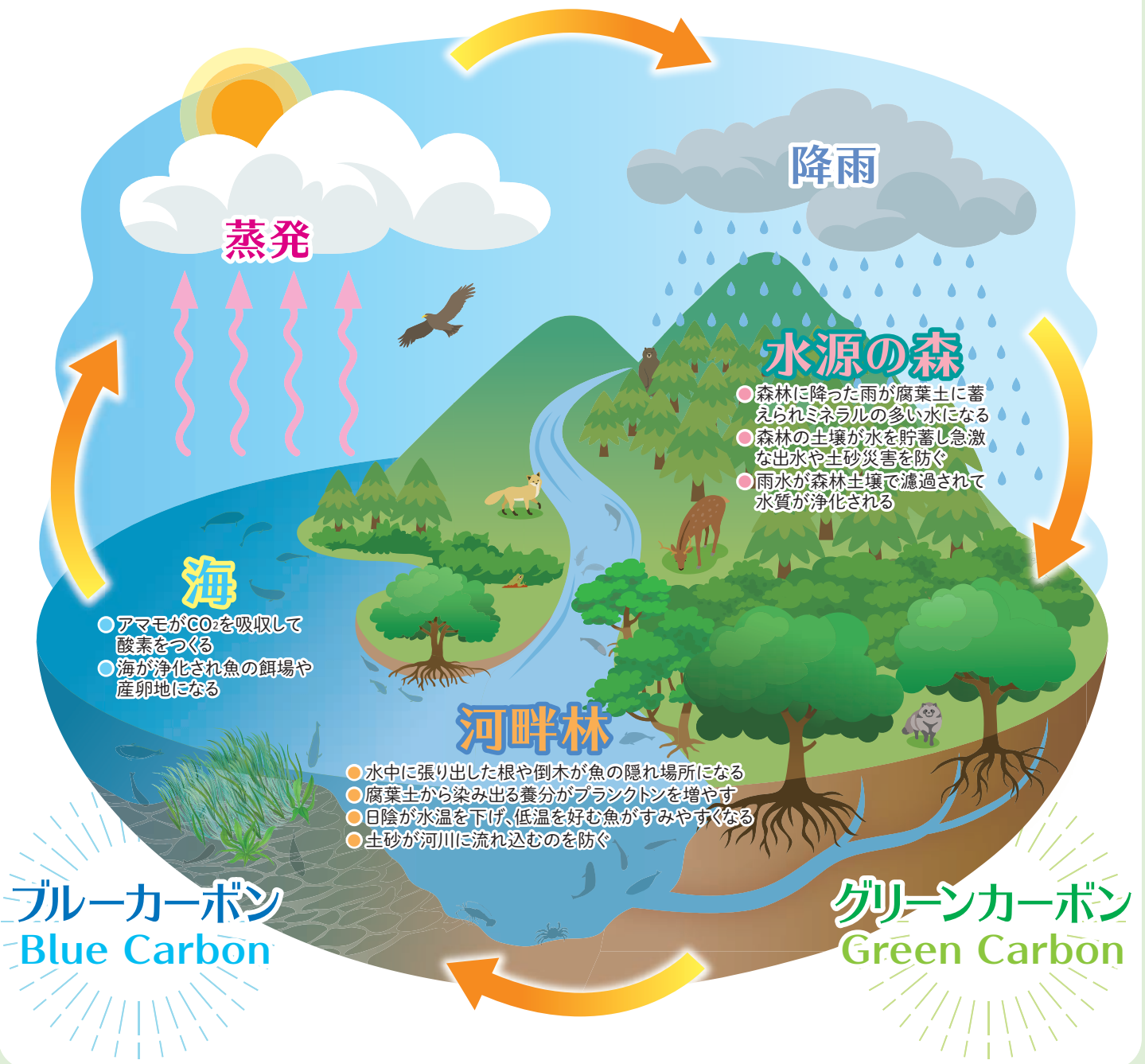


セブン-イレブン記念財団は、このプロジェクトに賛同しています

## 森林の保護・保全活動「山の森づくり。海の森づくり。」

「山の森」と「海の森」の二つの視点から「CO<sub>2</sub>削減」と「豊かな自然環境の再生」を進めています。

CO<sub>2</sub>: 二酸化炭素  
カーボン: 炭素



## セブンの森・海の森づくり

地域の団体が主体となって、地域の自然環境や特徴、ニーズに合わせた保護・保全活動を行い、10年後・20年後の地域の姿を見据えた長期的な計画のもと、地域に親しまれ愛され、次世代へとつないでいく地域一体型の環境づくりを目指すものです。

また、自然体験や地域交流の機会を提供しながら持続可能な活動へと広げており、森・湿原・草原・湖・河畔林・川・海・休耕田などを対象に、年2回の作業活動を地

域のセブン-イレブン加盟店、セブン-イレブン本部社員、セブン-イレブン記念財団の3者が参加して実施し、支援を行っています。



「東京湾UMIプロジェクト」  
アマモの保護活動



「佐賀セブンの森」  
地域の団体と共同で活動するセブンの森活動



「霧多布セブンの森」  
植樹した木に食害フィルターの設置



「青森セブンの海の森」  
団体と大学が連携しアマモの種付け活動している様子

## 霧多布湿原保全活動 ～霧多布セブンの森～

豊かな生態系を抱く霧多布湿原を次世代に引き継ぐために、「小さな力が集まって、大切な自然遺産を残していく」ナショナルトラスト運動を推進しています。

北海道浜中町の認定NPO法人 霧多布湿原ナショナルトラストとパートナーシップ協定を結び、2002年より霧多布湿原の民有地などを取得し保全しています。霧多布湿原の約1/3は民有地で、開発の危険があるため、ナショナルトラスト方式での土地買収による保全を行っています。2018年より「霧多布セブンの森」も始動しました。

取得面積 **516.1ha**  
(2026年3月末日現在)



霧多布湿原は、ラムサール条約登録湿地

## トピック 「東京港藻場創出活動アマモ種蒔会」を開催

2025年12月13日、お台場海浜公園にて「東京港藻場創出活動 アマモ種蒔会」が開催されました。本活動は、東京都とセブン-イレブン記念財団をはじめとするパート

ナー企業・団体が協働し、海底環境を整備してアマモを育て、豊かな藻場の創出を目指す取組です。

当日は約200名が参加し、約8,000粒のアマモの種を播種シートに加工して海底へ設置しました。環境学習も行われ、海の生態系や気候変動について理解を深める機会となりました。



セレモニー「アマモの種」の授与



アマモ播種シートの作成



集合写真

## 「宮城セブンの森」の間伐材を利用した木製募金箱

2012年から宮城県大崎市鳴子温泉玉ノ木で、NPO法人しんりんと協働し「宮城セブンの森」づくりに取り組んでいます。2014年からは、この森で生じた間伐材を利用した木製募金箱を店頭に設置。木材の循環利用を進めることで森林保全や地球温暖化防止に貢献しています。募金箱は宮城県大崎市の障害者就労支援事業所で組み立てられており、使用後は燃料や新たな木製品としてリサイクルされます。



宮城セブンの森



NPO法人しんりんと協力し「宮城セブンの森」の整備活動

### 植樹・育木活動

### 伐採・活用



宮城セブンの森の間伐材を使用して募金箱を製作



### リペア・リユース



汚れや傷などカンナで削り新品同様にして再度利用

### 木材のカスケード利用



利用が難しくなった物は、ペレットの原材料へ

## トピック 宮崎セブンの水辺の森

地域住民とともに、生物多様性に迫る危機を回避し絶滅危惧種を守り、次世代へ良い川を継承するための取り組みを進めています。大淀川は宮崎・鹿児島・熊本の3県にまたがる九州有数の一級河川で、流域面積は九州で2番目、本川の長さは4番目に位置し、約60万人の暮らしを支えています。

この大切な河川を将来にわたり活用していくため、自然環境や生態系への配慮を取り入れた河川整備の重要性が高まっています。そこで、大淀川下流の宮崎湿地では、自然環境の保護・保全と適切な維持管理を行い、生物多様性に富み、誰もが憩える水辺空間を未来へ引き継ぐための活動に取り組んでいます。



宮崎市・大淀川流域ネットワーク・宮崎河川国道事務所・宮崎大学工学部、当財団の5社協定



「宮崎セブンの水辺の森」集合写真



希少な植物の運搬



運搬した期初な植物の移植

# セブンの森紹介動画

## 埼玉セブンの森

協定：荒川太郎右衛門地区自然再生協議会・国土交通省関東地方整備局荒川上流河川事務所・川島町・セブン-イレブン記念財団

目的：太郎右衛門自然再生地に生息・生育する多様な生物と自然環境を健全な状態で未来へ引き継ぐことを目的に、森・里・川・海のつながりを意識しながら、自然再生地の保全と周辺地域のさらなる活性化を進めていく

動画はこちら↓



## 高尾セブンの森

協定：東京都・セブン-イレブン記念財団

目的：高尾の森自然学校の貴重な森林を守り、集い学ぶ場所を整備する

動画はこちら↓



## 庄内セブンの森

協定：庄内自然博物館構想推進協議会・鶴岡市・セブン-イレブン記念財団

目的：都沢湿地やその周辺の自然環境を保全し、人が集える湿地を目指す

動画はこちら↓



## 霧多布セブンの森

協定：認定特定非営利活動法人霧多布ナショナルトラスト・セブン-イレブン記念財団

目的：豊かな生態系を抱く霧多布湿原を次世代に引き継ぐための環境保護・保全活動を行う

動画はこちら↓



## 青森セブンの海の森

協定：特定非営利活動法人あおりみなとクラブ・青森市・セブン-イレブン記念財団

目的：青森港駅前干潟とそれを取り巻く青森市の豊かな自然環境を健全な姿で次世代に引き継ぐ・青森港駅前干潟をきっかけとした「人と自然」「人と人」「人とまち」が融合するコミュニティづくりを進める

動画はこちら↓



## 長野セブンの森

協定：株式会社セブン&アイ・ホールディングス・信濃町・長野森林組合・セブン-イレブン記念財団

目的：荒廃した長野の森を、生物多様性が豊かで地域と共存する森の保全・再生をめざし、「みんなで楽しく笑顔で活動しよう!」をコンセプトに活動する

動画はこちら↓



## 奈良セブンの森

協定：一般社団法人大和森林管理協会・上牧町・王寺町・近畿大学農学部・セブン-イレブン記念財団

目的：自然環境を健全な姿で次世代に引き継ぐことを目指し、陽楽の森における生物多様性の保護および周辺地域の一層の活性化等を図る

動画はこちら↓



## 広島セブンの森

協定：東広島市吉川財産区・賀茂地方森林組合・セブン-イレブン記念財団

目的：松枯れした森を再生するために2013年より開始。植樹、下刈り、間伐など森林整備活動を実施する

動画はこちら↓



## 「国立公園の環境保全活動に関する協力協定書」を締結

2023年4月7日（金）、一般財団法人セブン・イレブン記念財団は、環境省自然環境局および地域の活動団体とともに『国立公園の環境保全活動に関する協力協定書』を締結いたしました。

（左）環境省自然環境局 奥田直久局長、  
（右）一般財団法人セブン・イレブン記念財団  
山本憲司理事長 ※協定締結時点



### 協定の経緯

セブン・イレブン記念財団は2023年11月に設立から30周年を迎え、国立公園は最初の指定から2024年で90周年を迎えました。これを機に、両者は国立公園における環境保全活動の推進を図り、自然の風景地の保護及び生物多様性の確保に向け

た取り組みの促進、並びに保護と利用の好循環による地域社会の持続的な発展に寄与することを目的に、相互に協力してこれらの取り組みを促進し更なる取り組みの深化や発信等を行うことに合意し、協力協定を締結いたしました。

### 協定の概要



霧島錦江湾国立公園 干潟の耕うん活動

#### 【協力内容】

- ①協働で実施する環境保全活動に関する事項
- ②環境市民活動助成に関する事項
- ③環境保全活動への参加の呼びかけに関する事項
- ④その他本協定の目的に資する事項

#### 【活動内容】

- 磐梯朝日国立公園（在来植物の保護保全のため、外来種駆除を実施）
- 日光国立公園（在来植物の保護保全のため、外来種駆除を実施）
- 富士箱根伊豆国立公園（植物の保全のため、防鹿柵の設置・点検を実施）
- 瀬戸内海国立公園（瀬戸内海の生物保護保全のため、海洋ごみ拾いを実施）
- 霧島錦江湾国立公園（干潟の保全・再生を協働で実施）

## 「霧島錦江湾国立公園整備活動」紹介動画

### 自然の恵みを未来へつなぐ、干潟再生プロジェクト

「霧島錦江湾国立公園整備活動」では、霧島錦江湾国立公園に位置する重富海岸を舞台に、自然環境の保全と生物多様性の改善を目的とした活動を実施しています。重富海岸では近年、台風の上陸が少なかった影響

により干潟が十分に攪拌されず、土壌が硬く締まり、生きものがすみにくい環境になっていることが課題となっています。そこで本活動では、生きもの観察を通じて干潟の状態を確認するとともに、耕うん作業を行うことで土壌を柔らかくし、生きものが生息しやすい環境の再生を目指しています。

こうした取り組みを継続することで、干潟本来の豊かな生態系を取り戻すと同時に、自然との関わりや環境保全の重要性を参加者一人ひとりが実感し、地域の自然を未来へとつないでいくことを目的としています。



霧島錦江湾国立公園 集合写真

霧島錦江湾国立公園  
紹介動画はこちら



# 「セブンの森」づくり一覧

(全35カ所、うち終了12カ所)

「セブンの森」は下刈りや植樹を行い、10年後・20年後に地域の自然環境やニーズに合わせた森にする、というような地域に親しまれ、愛され、次世代に繋げる地域一体型の森づく

りを目指しています。2018年度からは国有林・公有林に私有林も加え、地域住民やNPO、行政と連携し、気軽に参加して自然体験や地域交流ができる森づくりを行っています。

都道府県	名称	場所	開始年	面積	活動分野
北海道	支笏湖セブンの森	千歳市	2006年～2021年終了	16.3ha	森林
北海道	千歳セブンの森	千歳市幌加	2009年～2014年終了	1.2ha	森林
北海道	えりも岬セブンの森	幌泉郡えりも町	2013年～2023年更新	4.7ha	森林
北海道	霧多布セブンの森	厚岸郡浜中町	2018年～	488.7ha	湿原
青森県	青森セブンの海の森	青森市	2021年～	—	海
山形県	庄内セブンの森	鶴岡市	2025年～	7.7ha	湿原
宮城県	宮城セブンの森	大崎市鳴子温泉玉ノ木	2013年～	300.0ha	森林
宮城県	仙台湾セブンの森	名取市下増田台	2014年～2019年終了	1.0ha	森林
宮城県	東松島セブンの森	東松島市浜市	2016年～2021年終了	1.0ha	森林
宮城県	塩竈セブンの海の森	塩竈市	2020年～	—	海
福島県	相馬セブンの森	相馬市磯部大洲	2016年～2021年終了	0.3ha	森林
茨城県	茨城セブンの森	水戸市見川町桜川緑地	2018年～2024年終了	6.0ha	河畔林
栃木県	栃木セブンの森	矢板市長井	2013年～2018年終了	2.0ha	森林
埼玉県	埼玉セブンの森	太郎右衛門自然再生地	2022年～	—	河畔林
千葉県	千葉セブンの森	富津市	2012年～2016年終了	2.5ha	森林
千葉県	館山セブンの海の森	館山市沖ノ島	2021年～	—	海
東京都	高尾セブンの森	八王子市川町	2014年～	26.5ha	森林
福井県	福井セブンの森	福井市小羽町「清水きららの森～おばやま自然公園～」	2017年～	2.6ha	森林
山梨県	山梨セブンの森	笛吹市石和町	2020年～	20.6ha	森林
長野県	長野セブンの森 I	埴科郡坂城町	2012年～2016年終了	250.0ha	森林
長野県	長野セブンの森 II	上水内郡信濃町「やすらぎの森」	2017年～	15.9ha	森林
三重県	三重セブンの森	津市美里町	2014年～2019年終了 2020年更新	1.2ha→8.8ha	森林
滋賀県	滋賀セブンの森	守山市今浜町 第2なぎさ公園	2019年～	—	湖
大阪府	大阪セブンの森	能勢郡能勢町「歌垣山」	2013年～2018年終了	3.7ha	森林
大阪府	阪南セブンの海の森	阪南市西鳥取漁港西海岸	2018年～	—	海
奈良県	奈良セブンの森	北葛城郡王寺町、北葛城郡上牧町	2023年7月～	3.93ha	森林
広島県	広島セブンの森	東広島市八本松町	2013年～2021年更新	3.6ha→15ha	森林
福岡県	福岡セブンの森	福岡市早良区曲洲	2015年～2020年終了	1.8ha	森林
福岡県	福岡セブンの海の森	福岡県中央区	2025年～	—	海
長崎県	長崎セブンの森	長崎市相川町	2026年～	0.6ha	湿原
佐賀県	佐賀セブンの森	三養基郡基山町	2014年～	4.7ha	竹林
宮崎県	宮崎セブンの森	日南市北郷町	2013年～2020年終了	3.0ha	森林
宮崎県	宮崎セブンの水辺の森	宮崎市	2025年～	8.8ha	河畔
大分県	大分セブンの森	玖珠郡九重町	2021年～	600ha	草原
沖縄県	沖縄セブンの海の森	沖縄県八重瀬町	2025年～	—	海

面積合計 1797.3ha

(2025年度末時点)

## 「セブンの森」づくり累計活動結果

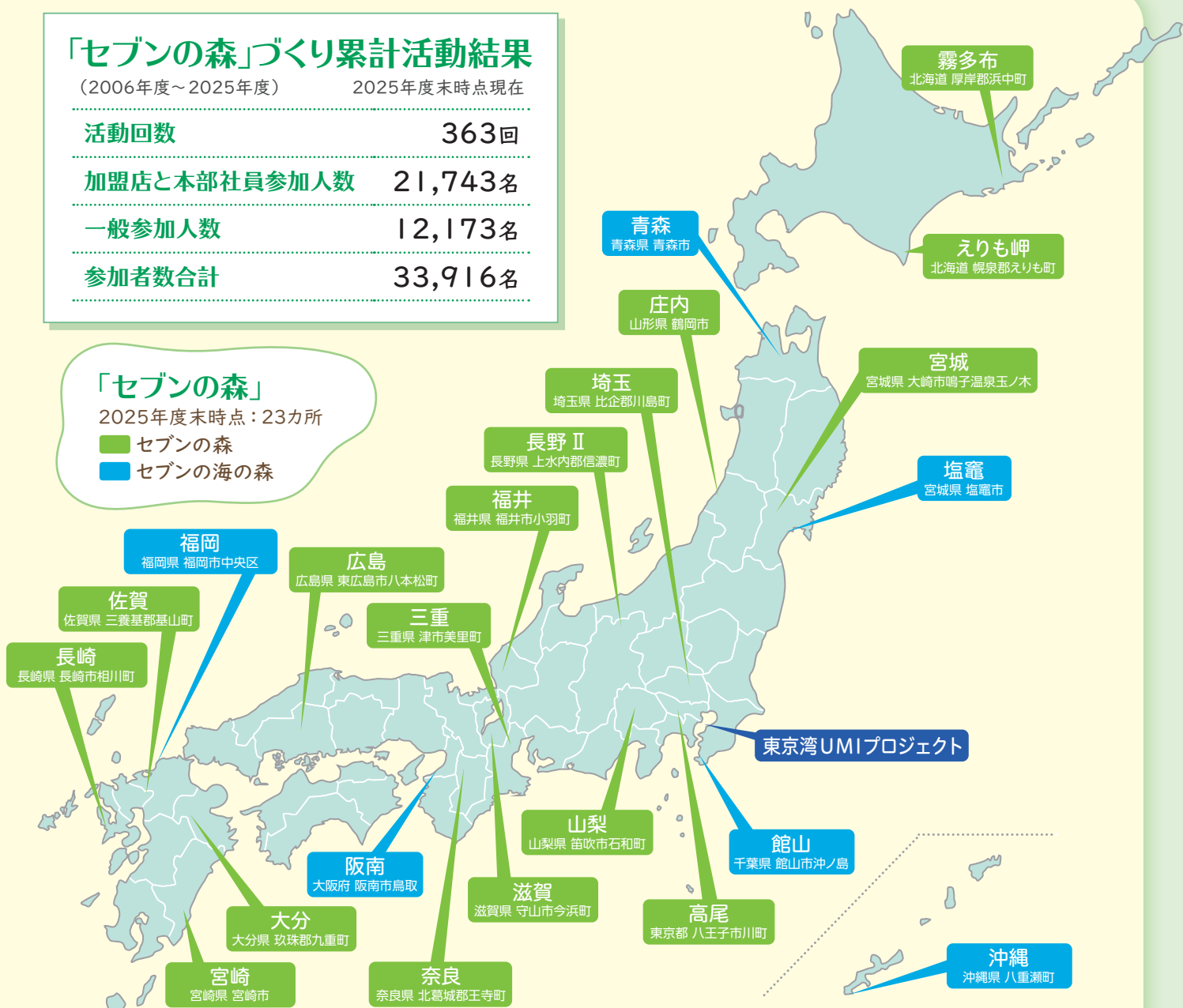
(2006年度～2025年度) 2025年度末時点現在

活動回数	363回
加盟店と本部社員参加人数	21,743名
一般参加人数	12,173名
参加者数合計	33,916名

### 「セブンの森」

2025年度末時点：23カ所

- セブンの森
- セブンの海の森



## トピック 新しいセブンの森づくりが始まりました!

- 2025年 4/16 **福岡セブンの海の森**  
福岡県、福岡県ブルーカーボン推進協議会、(一社)ふくおかFUNと整備・保全協定書を締結。
- 2025年 6/25 **沖縄セブンの海の森**  
八重瀬町、(株)セブン-イレブン沖縄、ホロホローの森未来づくり協議会と整備・保全協定書を締結。
- 2025年 10/ 3 **宮崎セブンの水辺の森**  
特定非営利活動法人大淀川ネットワーク、宮崎市、宮崎大学工学部、国土交通省九州地方整備局宮崎下線国道事務所と整備・保全協定書を締結。
- 2026年 1/22 **長崎セブンの森**  
特定非営利活動法人環境保全教育研究所、長崎市と整備・保全協定書を締結。



福岡セブンの海の森協定式



沖縄セブンの海の森協定式



宮崎セブンの水辺の森協定式



長崎セブンの森協定式

# 自然学校

「人と自然、自然環境と地域社会の共存・共栄を自然から学ぶ」を基本理念に、  
大分県玖珠郡九重町と東京都八王子市川町で自然学校を運営しています。



## くじゅう 九重ふるさと自然学校

九重ふるさと自然学校は、大分県九重町、くじゅう飯田高原に位置する体験型の学びの拠点です。2007年に開校し、阿蘇くじゅう地域に広がる草原環境の保護と継承を中心に活動してきました。野焼きや草原管理の背景を学ぶ体験、農的な暮らしに触れるプログラム、自然観察を通じて、人と自然の関わりを伝えています。地域と連携し、草原文化を未来へつなぐ学びの場として親しまれています。

### 利用方法と楽しみ方

フィールドは、タデ原・坊ガツル湿原に象徴される草原景観と、田んぼ・雑木林・清流が連なる里地里山。季節ごとに野鳥観察、草原の花を楽しむ散策、里山のくらしに触れる体験が可能です。園内には自然散策路も整備され、初めての方でも安全に楽しめます。

開園日・プログラム参加方法は、公式サイト「参加募集プログラム」欄をご確認ください。団体受入や教育旅行の相談も随時受付しています。



### プログラム・ボランティア募集

自然共生型の田んぼ体験（田植え・稲刈り・収穫祭）、草原保全の実地活動、バードウォッチング、里山の手しごとなど、四季を通じた多彩なプログラムを展開。保全ボランティアは、草刈りや散策路整備、モニタリング調

査など経験不問で参加可能です。

募集状況・申込方法・注意事項は公式サイトをご確認ください。企業・学校との協働プログラムもご相談いただけます。



稲刈り



くじゅう生きもの観察会



鹿防止柵設置



みいれが池整備前生きもの救出

スタッフ集合写真



## 高尾の森自然学校

高尾の森自然学校は、東京都八王子市・高尾地域の里山をフィールドに、自然体験・環境教育を推進する拠点です。東京都との協働として、2015年に開校しました。多摩地域の緑豊かな26.5ヘクタールの都有地において、森林整備や里山保全、希少動植物の保護・保全活

動を実施し、自然観察や子ども向け体験、地域参加型の学びを通じ、生物多様性の保全と地域の自然文化を次世代へ継承する人材育成に取り組んでいます。これらの取組が評価され、2025年には「自然共生サイト」に認定されました。



## 利用方法と楽しみ方

コナラ林を中心とする里山の樹林地には、カワセミやゲンジボタルなどの希少種が生息し、多様な生態系を身近に観察できます。散策路での森歩き、ガイド付き観察会、木の実や間伐材を用いたクラフト体験など、初心者から親子まで楽しめるメニューを用意。

開館日・参加方法・持ち物は公式サイトをご確認ください。安全管理上、プログラムは事前申込制となります。



森里川海 のつながりを学ぶ



ジュニアボランティア

申込は公式サイトまたは八王子市の募集ページへ。CSR/教育連携も受入可能です。最新情報・注意事項は各募集要項をご確認ください。

## プログラム・ボランティア募集

下草刈り・間伐等の森林整備、希少種モニタリング、野鳥・植物の観察会、畑クラブ、ジュニアボランティア、若年層向け「環境アカデミー」など、多様なプログラムを展開。ボランティアは初心者歓迎で随時募集し、道具や作業のレクチャーも実施しています。



「九重ふるさと自然学校」ホームページ

大分県玖珠郡九重町大字田野 1726-408  
Tel : 0973-73-0001

【開館時間】 9:30~17:00 (最終受付 16:30)  
(定休日: 火曜日)

フェイスブック



LINE



「高尾の森自然学校」ホームページ

東京都八王子市川町 705-1  
Tel : 042-673-3844

【開館時間】 9:30~17:00 (3月~9月)  
9:30~16:00 (10月~2月)  
(定休日: 火曜日)

フェイスブック



Instagram



LINE



※どなたさまでもご利用可能な施設となりますが、ご利用の際は必ず、施設事務所にお声掛けをお願いします。



YouTube動画はこちら「セブン-イレブン記念財団自然学校チャンネル」



「あしもとから」  
毎月15日(5×3=15)に自分達のあしもとから  
出来ることを実践する日

# 自然のすばらしさを体験し 環境を考える機会を提供

私たちを取り巻く自然環境の大切さに気づき、その問題について関心を持ち、身近なところから取り組みを始めていただくための広報活動を行っています。

## 環境イベント支援

### 森林スポーツフェスタ

森林の中で行われるエコスポーツを通して、森の恵みやすばらしさを体感する「北海道森林スポーツフェスタ」に1999年の第2回より特別協賛しています。



第24回 北海道森林スポーツフェスタ 2025 in 支笏湖

### 海辺の自然再生・高校生サミット

「アマモ」や「アマモ場」を象徴的なキーワードとして、海の自然再生・保全を目指している全国的な大会です。

2008年の横浜大会以来、全国各地の沿岸域が抱える環境問題をテーマに、毎年地域の事例発表や意見交換の場として、全国各地で開催されています。

全国の高校生たちがアマモを中心とした海に関する研究発表をする「海辺の自然再生・高校生サミット」の開催を第1回から支援しています。



海辺の自然再生・高校生サミット2025 in よこすか

### 脱炭素チャレンジカップ (旧:低炭素杯)

日本全国、多様な主体が取り組む脱炭素化に関する活動を表彰する制度を通じ、全国の優れた取り組みのノウハウや情報を共有し、さらなる活動への連携や意欲を創出するしくみと場である「脱炭素チャレンジカップ」を(一社)地球温暖化防止全国ネットと2012年から共催しています。



脱炭素チャレンジカップ2026  
セブン-イレブン記念財団 最優秀地域活性化賞 受賞  
徳島県立吉野川高等学校

### 森のようちえん全国交流フォーラム

森の中を学びの場として、子どもの主体性を重んじた保育を行う森のようちえん活動の関係者が集い、情報交換をするフォーラムに2015年の第11回より特別協賛しています。



第20回 森のようちえん 全国交流フォーラム in 青森

## 地域の環境美化活動支援

「スカウトの日」活動を支援しています。

次の世代を担う子どもたちが、さまざまな体験を通して環境問題に気付き自らが考えて行動できるよう、環境意識を育てる青少年の環境教育活動を支援しています。



(公財) ボーイスカウト日本連盟が毎年9月の敬老の日(第三月曜日)に実施している全国で一斉に行われる社会貢献活動「スカウトの日」を1994年より継続して全面的に支援しています。

### 「スカウトの日」の累計結果 (1994年～2025年)

参加団体	34,426団
参加人数	1,368,251名
回収した空き缶	7,485,444本
回収したペットボトル	679,170本

## 広報誌『みどりの風』

「人と自然」「自然環境と地域社会」をテーマにした広報誌『みどりの風』を年4回発行しています。

2023年夏号より、小学校高学年から中学生を対象とした「特別子ども号」を発行し、若い世代にも環境やボランティアに興味を持っていただけるよう全国の小中学校に配布しました。また、セブンの森・海の森の活動報告として「セブンの森だより」を新設いたしました。



HPにて無料で公開しております



## ホームページ・SNS

セブン-イレブン記念財団の情報を記載しています。



X-エックス-

<https://x.com/711kinenzaidan>

フェイスブック

<https://www.facebook.com/7midori.org>



ユーチューブチャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCdMURwpiKrEsf94B7mzE68Q>



財団ホームページ

<https://www.7midori.org/>





「塩竈セブンの海の森」宮城県

## 被災地の自然を 復旧・復元するために

甚大な被害をもたらした東日本大震災の復興支援をはじめ、大規模な地震や火災、台風など自然災害の被災地を復旧・復元するための活動を行っています。

### 東日本大震災復興支援

#### 塩竈セブンの海の森

宮城県の松島湾は多数の島々が点在しており、製塩などを通して海の恵みを受けて発展してきましたが2011年の東日本大震災により、松島湾の環境は激変し、地域の人々を海から遠ざけました。



「湾ダブルしおがま海浜公園」  
2024年春 活動場所

震災後に海を怖がるようになってしまった子どもたちに、もう一度海の楽しさを体験してもらう機会にするため、宮城県塩竈市と松島湾アマモ場再生会議とセブン-イレブン記念財団の三者で2020年7月に協定を締結しました。塩竈市北浜緑地護岸沿岸のアマモ場の再生や



アマモの選別と種の植付

保全再生活動を実施し、地域の活性化につなげています。



海岸清掃

### 災害時における被災地支援に関する連携協定

一般財団法人セブン-イレブン記念財団と一般社団法人RQ災害教育センターは、災害時における被災地支援に関する連携しております。

**目的:**地震、風水害その他災害が発生した場合において、協力し、迅速かつ円滑に被災地での支援活動を実施することを目的とする。

**協定期間:**2023年8月1日～2026年7月31日



令和6年能登半島地震活動の様子



### 義援金募金活動

大規模な地震や火災、台風などの深刻な被害が予想される広域災害発生の際は、セブン-イレブン店頭を設置されている募金箱のステッカーを貼り替え、義援金募金活動を行っています。お客様からのご厚意は、心を込めて被災地へお届けしています。

これまでの義援金 (2026年2月末時点)

総額: 64億2508万1473円

内訳: 義援金 52億2999万9962円  
支援金 11億8798万1511円  
見舞金と物品 710万円

# 地域に根ざした 環境市民活動を支援

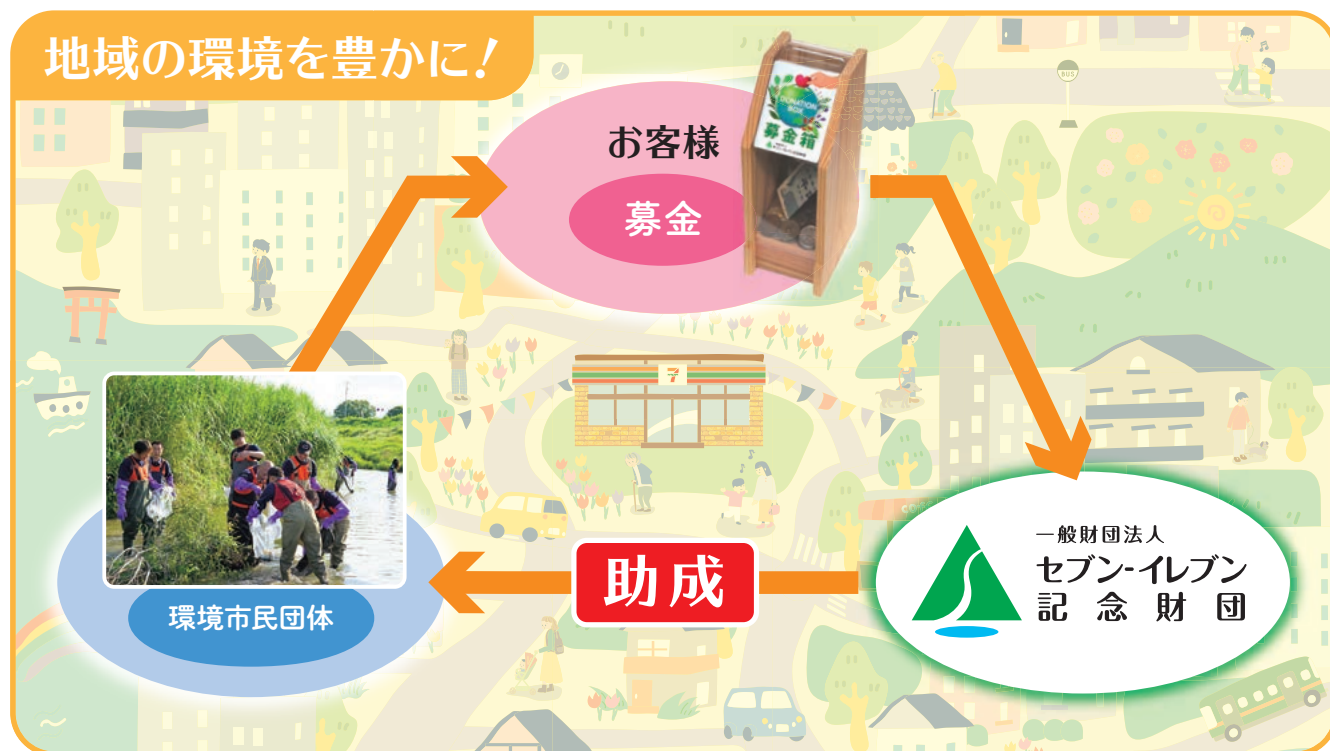
セブン-イレブン記念財団は、地域の環境市民団体が新しい社会の担い手として活躍できるよう、市民が主体的に行っている地域の環境活動を様々な角度から支援しています。



2026年度  
環境市民活動助成パンフレット

## 環境市民活動助成

お客様が募金を通して地域の環境活動を支援する、市民参加型の社会貢献活動です。



## 2025年度 環境市民活動助成 結果報告

### ■ 応募から活動実施までのスケジュール

2024年			2025年		2026年	
8月	9～10月	11～12月	1～3月	4～12月	1～3月	4月
応募情報解禁	応募期間	審査期間		助成活動期間		報告書提出

### ■ 助成の種類

未来へつなごう助成	30万円/団体	地域の環境課題解決のため、大学生・大学院生が主体となって取り組む活動を1年間支援 *2026年度助成より18歳以上の学生も応募可としています。
地域美化助成	50万円/団体	ごみのない、緑と花咲く街並みをつくる活動を1年間支援
活動助成	100万円/団体	地域の環境課題解決のため、市民が主体となって取り組む活動を1年間支援
NPO基盤強化助成	400万円/団体×原則3年	地域の環境課題解決のため、革新的かつ持続可能な自主事業の構築・確立を目指すNPO法人の活動を原則3年間支援

## 助成先のご紹介

### ◆未来へつなごう助成◆

## フードバンク彩鳥

Since 2023

もったいないを、  
ありがとうございます彩る未来、つなぐ命

食品ロスの削減、支援を必要とする人々への食品提供、  
地域コミュニティへの貢献を目的に活動。



紹介動画はこちら



### ◆地域美化助成◆

## NPO法人 未来の荒川をつくる会

Since 2009

みんなで作ろう「未来の荒川」

次世代を担う子どもたちに美しい自然と誇れる郷土を  
残すことを目的に、荒川の環境保全活動に取り組む。



紹介動画はこちら



### ◆活動助成◆

## NPO法人 桶ヶ谷沼を考える会

Since 1986

小さな命を大切に  
日本一!のトンボ楽園へ

希少種ベッコウトンボの調査・保護をはじめ、自然との  
共生のため多角的に取り組む。



紹介動画はこちら



### ◆NPO基盤強化助成◆

## NPO法人 里地里山問題研究所

Since 2015

獣がい対策で農村の未来を創る

獣害を地域の力に変える新しいモデルを創出し、持続  
可能な農村の未来を築く活動。



紹介動画はこちら

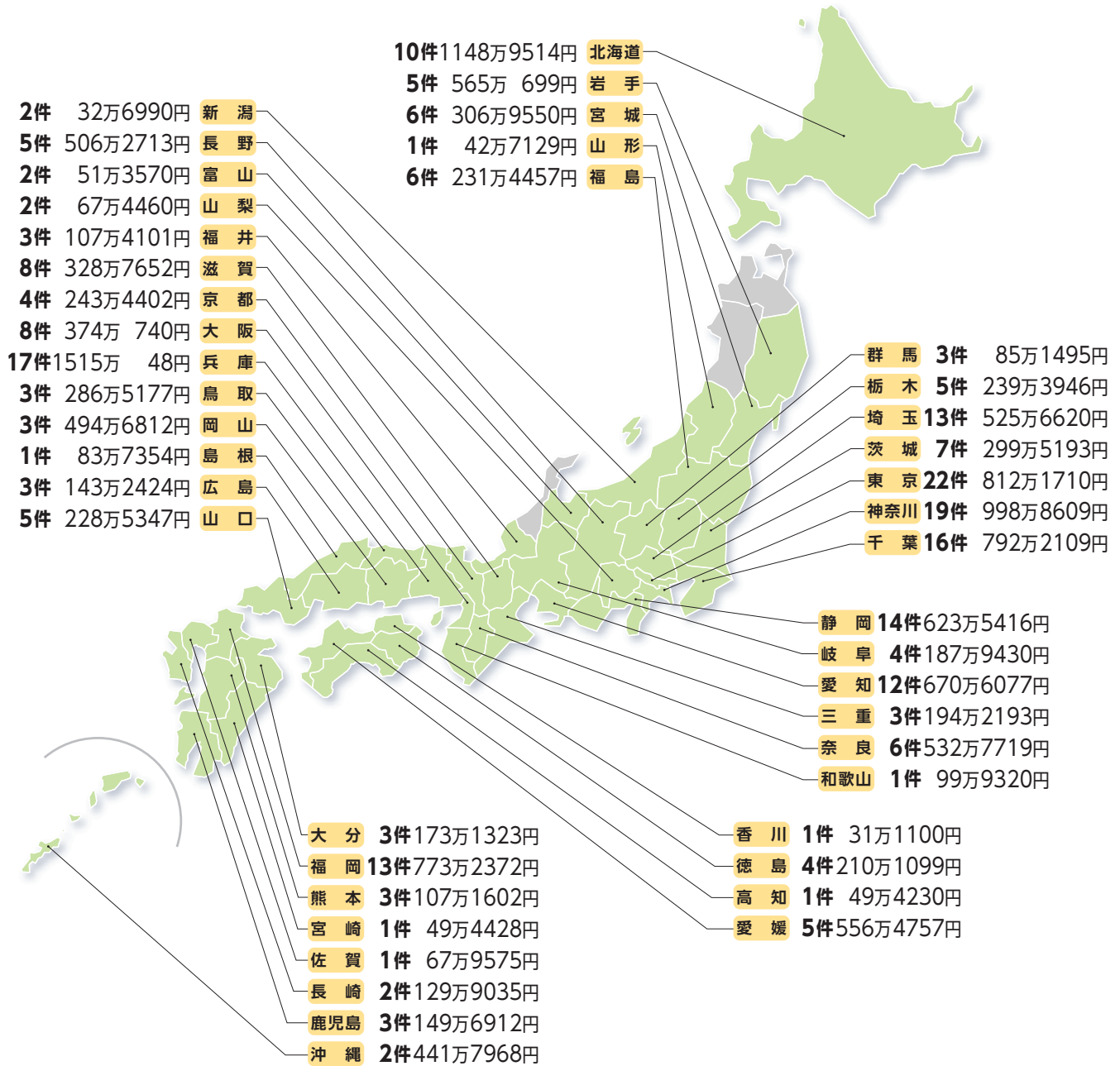


## 2025年度「環境市民活動助成」都道府県別助成総数と助成総額

※2023年度、2024年度、2025年度の継続助成を含みます。

助成総数 **258件** 助成総額 **1億5559万7377円**

※2025年6月30日時点(採択後辞退含む)。

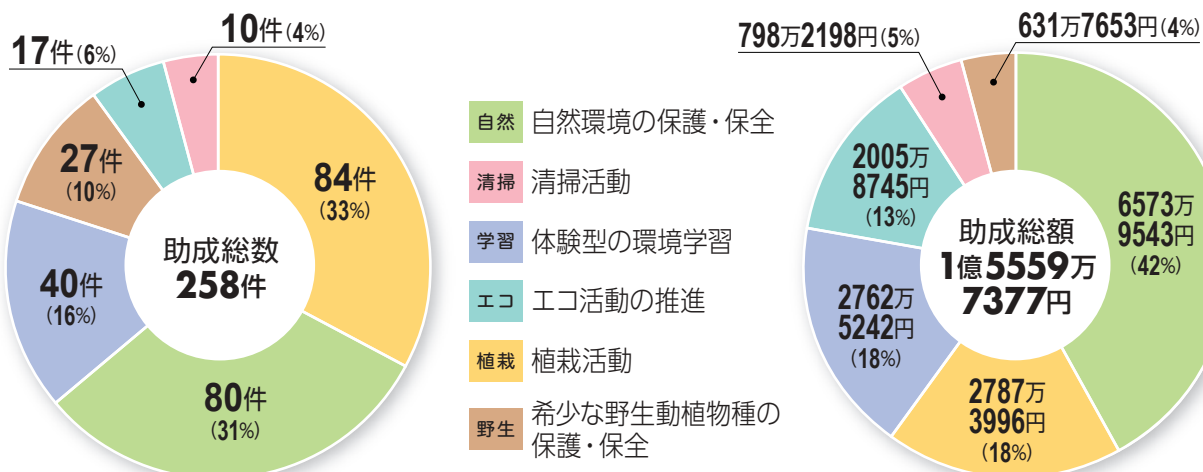


## 2025年度「環境市民活動助成」(複数年継続を含む)

助成の種類	応募		単年度の助成決定		複数年継続を含む助成決定	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
未来へつなごう助成	8件	2,254,032円	6件	1,654,859円	-	-
地域美化助成	126件	43,980,136円	111件	35,856,194円	-	-
活動助成	235件	151,053,663円	129件	74,163,212円	-	-
NPO基盤強化助成	39件	130,002,243円	6件	20,957,972円	12件	43,923,112円
合計	408件	327,290,074円	252件	132,632,237円	258件	155,597,377円

## 2025年度「環境市民活動助成」活動分野別助成総数と助成総額

※2023年度、2024年度 NPO基盤強化助成の継続団体を含む ※2025年6月30日時点（採択後辞退含む）



## 2001～2025年度までの助成件数と助成決定金額

助成総数 **5,436件** 助成総額 **31億8829万730円**

※2025年6月30日時点（採択後辞退含む）

年度	単年度の助成		複数年度継続を含む助成	
	件数	金額	件数	金額
2025年度	252件	132,632,237円	258件	155,597,377円
2024年度	268件	126,276,677円	275件	153,926,505円
2023年度	239件	115,850,281円	268件	161,864,664円
2022年度	258件	121,251,747円	285件	155,361,354円
2021年度	246件	121,153,791円	272件	138,350,724円
2020年度	242件	88,656,491円	269件	111,063,824円
2019年度	285件	119,253,140円	289件	133,402,934円
2018年度	264件	127,827,840円	271件	153,957,167円
2017年度	293件	133,815,020円	302件	167,417,785円
2016年度	294件	152,944,496円	304件	182,454,549円
2015年度	254件	142,276,318円	264件	169,311,877円
2014年度	253件	149,515,421円	268件	175,668,971円
2013年度	245件	129,028,445円	260件	155,948,445円
2012年度	131件	101,421,086円	139件	126,206,886円
2011年度	232件	145,726,773円	240件	158,980,713円
2010年度	210件	130,634,996円	224件	143,010,489円
2009年度	237件	121,235,814円	251件	134,927,614円
2008年度	180件	103,748,981円	191件	119,240,461円
2007年度	151件	90,045,085円	161件	103,382,710円
2006年度	101件	73,727,319円	112件	83,690,039円
2005年度	82件	57,400,089円	94件	72,330,059円
2004年度	113件	53,571,573円	119件	63,521,573円
2003年度	136件	71,395,401円	136件	71,395,401円
2002年度	96件	49,643,022円	96件	49,643,022円
2001年度	88件	47,635,587円	88件	47,635,587円
<b>合計</b>	<b>5,150件</b>	<b>2,706,667,630円</b>	<b>5,436件</b>	<b>3,188,290,730円</b>

## 2025年度（令和7年度）都道府県別助成先団体・活動内容一覧

※2023年度、2024年度 NPO基盤強化助成の継続団体を含む ※2025年6月30日時点（採択後辞退含む）

### 北海道

都道府県	助成先団体名	活動内容	分野
北海道	NPO法人 ストランディングネットワーク北海道	漂着鯨類を通し海の大切さを普及する	自然
北海道	NPO法人 いきものいんく	総合環境教育施設を設立する	学習
北海道	NPO法人 近自然森づくり協会	離島の水源林を再生・整備・活用する	自然
北海道	NPO法人 パンケヌカナン村設立準備会	電気をつくる楽しさを地域で共有する	エコ
北海道	ゆうち自然学校	こども達の活動拠点を整備する	学習
北海道	苫小牧市まちを緑にする会	市民の手で緑化運動を推進する	植栽
北海道	利尻町みどり豊かなまちづくり推進委員会	花いっぱい運動	植栽
北海道	NPO法人 北海道森林ボランティア協会	台風で被害を受けた森林の再生	自然
北海道	根室ワイズユースの会	春国帛を保全する	清掃
北海道	標茶町花いっぱいコスモス推進会議	花を植え地域を明るくする	植栽
北海道	認定NPO法人 霧多布湿原ナショナルトラスト	霧多布湿原を次世代に引き継ぐためのナショナルトラスト活動	自然

### 東北

都道府県	助成先団体名	活動内容	分野
青森	NPO法人 あおもりみなとクラブ	藻場再生と自然環境保全、SDGs理解度向上及び地域愛着醸成	自然
岩手	NPO法人 吉里吉里国	恩送りの森を育てその活用を促進する	自然
岩手	大槌町藻場再生協議会	藻場等の海洋環境を保全する	自然
岩手	NPO法人 三陸ボランティアダイバーズ	ボランティアダイバーが藻場を再生する	自然
岩手	名須川町内会	公園の緑化と町内の環境を整備する	清掃
岩手	和村ソフトボールクラブ	花壇に花植えをする	植栽
宮城	小泉ユニバーサルビーチユニット	清掃プラス1で持続可能な清掃に	自然
宮城	NPO法人 ラムサール・ネットワーク日本	水田の地下水水位管理と生物多様性の保全	自然
宮城	化女沼2000本桜の会	次世代に持続可能な自然を残す	植栽
宮城	錦ヶ丘花と緑の会	錦ヶ丘の主要な花壇の花植え	植栽
宮城	高森ふるさとづくりの会	高森東公園を地域の広場にする	清掃
宮城	坂元グリーンサポートクラブ	新市街地公共緑地の緑化及び除草	植栽
宮城	NPO法人 しんりん	「森と人間が調和・共生する森づくり」事業と、持続可能な新しい林業の構築	自然
山形	マイ夢の花の里づくりクラブ	植花と緑化により環境の美化する活動	植栽
山形	庄内自然博物館構想推進協議会	市民参画によって湿地再生を推進する活動	自然
福島	アクアマリンパークファウンデーション	海洋プラゴミについて学び・清掃する	自然
福島	NPO法人 いろり	山村集落の保全や関係人口を増やす	自然
福島	小名浜まちづくり市民会議	本町通りと富ヶ浦公園をきれいにする	植栽
福島	里山の食と農、暮らしに学ぶ鮫川学	里山文化を学び里山景観を保全する	学習
福島	下柴行政区	フラワーロードの追加の植え込み	植栽
福島	日立木6号花壇ボランティア	地区内の国道沿いの花壇の整備	植栽

### 関東

都道府県	助成先団体名	活動内容	分野
茨城	久慈川水防竹林を守る会	久慈川流域の荒廃竹林を保全する	自然
茨城	うしく菊花公園の会	菊の伝統文化の継承と啓発	植栽

茨城	源氏川の彼岸花を保存する会	源氏川の彼岸花を管理・保全する	清掃
茨城	小貝川・花とふれあいの輪	小貝川堤の荒地を花の公園に整備する	植栽
茨城	竜ヶ井城山の会	竜ヶ井城周辺登山道と山林を整備する	自然
茨城	下妻市花のまち推進ボランティアクラブ	市内県道沿い緑地帯の植栽管理	植栽
茨城	額田城跡保存会	額田城跡の史跡管理および清掃	清掃
栃木	那須塩原環境ボランティアの会	多様な植物群を鹿の食害から保全する	自然
栃木	NPO法人 うつのみや環境行動フォーラム 再生可能エネルギー部会	実験体験を重視する環境出前授業	学習
栃木	米山南町会 花づくり倶楽部	一年中花ある公園に	植栽
栃木	国道461号ラベンダーロード計画	ラベンダーを植樹する	植栽
栃木	渡良瀬遊水池を守る利根川流域住民協議会	渡良瀬遊水池の湿地を再生し維持する	自然
群馬	川場美しいマチ研究会	農村風景の修景を目指す	植栽
群馬	まちづくりを考える研究グループ	河川の親水を促すため花を植替える	植栽
群馬	八寸の会	絶滅してしまったアマドコロを植栽する	植栽
埼玉	森のフィールド学舎	荒廃している里山の雑木林を再生する	自然
埼玉	NPO法人 R.I.La	川の水生生物を観察し清掃活動をする	学習
埼玉	NPO法人 一二三富の会	市民の森を維持管理し活用する	自然
埼玉	NPO法人 つるがしま里山サポートクラブ	市民の森の整備	自然
埼玉	かぞ花育活動推進委員会	加須市内に花や緑を植栽する	植栽
埼玉	NPO法人 奥武蔵ピースラボ	里山・里川の環境保全を行う	自然
埼玉	上福岡駅前に花と緑を育てる会	上福岡駅西口に花を植える	植栽
埼玉	NPO法人 けやの森自然塾	里山の再生と環境教育	自然
埼玉	NPO法人 ねこネットワーク	ペットフードの廃棄を削減	エコ
埼玉	フラワーフレンズおたがや	グリーンパークへの草花の植栽	植栽
埼玉	白岡2山行政区自治会 山の公園企画運営部会	私設の公園に地域住民で植栽緑化をする	植栽
埼玉	福岡中央公園を愛し育てる会	皆の公園を地域と協働で守り育成する	植栽
埼玉	東狭山ヶ丘美化協議会	花植え及び除草、周辺の清掃活動	植栽
千葉	NPO法人 緑の環・協議会	皆伐の森から水源涵養林を再生する	自然
千葉	NPO法人 ちば森づくりの会	千葉市の里山林を森林施業で保全する	自然
千葉	NPO法人 Aqua Dream Project	楽しみながらSDGsを実現する	自然
千葉	NPO法人 こびすくらぶ	船橋の森を市民の手で再生する	自然
千葉	earthFUNTRY!	歌とダンスで楽しくSDGsを考える	学習
千葉	七ツ池再生委員会	環境保全(美化清掃)	植栽
千葉	ぐるっと交換会	子ども服を地域でおさがり	エコ
千葉	八千代花と緑の応援団	バラの植栽を通じた街づくり	植栽
千葉	グリーンレンジャー	調節池法面から雑草等を除去する	清掃
千葉	NPO成田さくらの里	曼珠沙華を植え赤い糸「線」を!	植栽
千葉	NPO法人 ちばサイエンスの会	森を五感で味わい生きる力を育成する	学習
千葉	Yatsu Link Vista	谷津駅北口広場をバラで満たす	植栽
千葉	椎の森里山会	自然環境保全緑地の整備維持管理	自然
千葉	ちば千年の森をつくる会	生物多様性保全を目指し森を整備する	自然
千葉	カンナの会	地域の花植え及び花壇の整備	植栽
千葉	浜子里山保存会	里山竹林の保全とその資源の利用	自然
千葉	NPO法人 たてやま・海辺の鑑定団	館山市の沖ノ島を主なフィールドに海や森などの自然を知り守る活動	自然

東京	一般社団法人 ガールスカウト東京都連盟	都内各地の一斉ごみ拾い	自然
東京	NPO法人 多摩川塾	多摩川での環境学習	学習
東京	五反舎	杉・檜を中心とした森の維持管理	自然
東京	玉川上水みどりといきもの会議	玉川上水の保全	自然
東京	小田野中央公園まちづくりの会	公園の草刈り・花壇の維持管理	清掃
東京	NPO法人 渋谷さくら育樹の会	渋谷さくら通りの植栽推進	植栽
東京	代々木公園ボランティア	代々木公園における園芸・観察	植栽
東京	南大沢4-15自治会	高齢者が花壇づくりに挑戦	植栽
東京	一般社団法人 街いく探検隊	子供のごみ拾いを通じた環境学習	学習
東京	NPO法人 ふるさとの森づくりセンター	自然が先生・自然の学校	学習
東京	2.5 architects	埋立地に関する環境学習	学習
東京	唐木田コミュニティセンター運営協議会	花いっぱい植花育成	植栽
東京	パークシティ豊洲園芸クラブ	花壇を作り住民や子供たちと交流	植栽
東京	まちとみどりの実験室	在来種による緑化と環境学習	学習
東京	豊洲シーサイドガーデン	花を通じて人と人が繋がる	植栽
東京	NPO法人 地球緑化センター	三宅島に森と海を再生	自然
東京	とよ花の会	花を植えて街をきれいに	植栽
東京	つどいの森ガーデナー倶楽部	花壇のデザインと維持管理	植栽
東京	明神町クラブ	東放射線街路植込を花で飾ろう	植栽
東京	氷川台自治会	自治会内道路・公園等を美化	植栽
東京	なでしこの会	道路に花を植え街をきれいに	植栽
東京	DEXTE-K	葛西海浜公園／西なぎさを清掃	清掃
東京	東京湾再生官民連携フォーラム	東京湾再生に関する活動	自然
神奈川	海藻おしば協会	海洋環境・地球環境保全普及啓発	学習
神奈川	里山をきれいにする会すもあ	里山の資源を活用することで保全する	自然
神奈川	水辺の生き物調査隊	水辺の生き物・環境の調査・保全	学習
神奈川	一般社団法人 横浜竹林研究所	都市型竹林整備	自然
神奈川	柳川生き物の里管理運営協議会	生き物の里を維持管理する	野生
神奈川	横浜自然観察の森友の会 雑木林ファンクラブ	森の自然を保全	自然
神奈川	認定NPO法人 神奈川海難救助隊	東京湾の浮遊ごみゼロに挑戦	自然
神奈川	まちの活性化委員会	環境美化と公園に花を咲かせる	植栽
神奈川	南足柄市姉妹都市交流協会	市内公民館にチューリップを植栽	植栽
神奈川	花でまちを活性化する会	花を植栽し市街地の景観を良くする	植栽
神奈川	NPO法人 都筑里山倶楽部	循環型都市公園の里山魅力アップ	植栽
神奈川	湘南桂台みどりの会	湘南桂台を花と緑で一杯に	植栽
神奈川	NPO法人 エミフル	清掃と美化を通じた地域活性化	清掃
神奈川	水沢森人の会	里山を保全・管理	自然
神奈川	横浜メダカの会	絶滅危惧種の横浜メダカを保存	自然
神奈川	Barefoot Seekers	海岸清掃、関連の教育や啓蒙	学習
神奈川	横須賀里山田んぼ倶楽部	里山的景観や環境と教育の場作り	自然
神奈川	NPO法人 神奈川フードバンク・プラス	生活困窮家庭への食品支援	エコ
神奈川	NPO法人 HpRun	子どもの海の関心のための海洋学習	学習
神奈川	NPO法人 緑のダム北相模	森林・里山整備、地域活性化協力する活動	自然

## 北信越

都道府県	助成先団体名	活動内容	分野
新潟	NPO法人 加治川ネット21	自然体験学習	学習
新潟	第二小区やすらぎの郷コミュニティ	県道沿いを植栽	植栽
富山	藤井自然保育研究室	未来へつなぐ子どもの森づくり	自然
富山	黒部山岳会	烏帽子山の登山道整備	自然
福井	NPO法人 里豊夢わかさ	自然に触れて学び、里山を身近に	学習
福井	春江大好きプロジェクト	多目的ローズガーデンを整備	植栽
福井	あわら市エコ市民会議	グリーンカーテンを普及	植栽
山梨	NPO法人 未来の荒川をつくる会	御嶽昇仙峡の下流・荒川を綺麗に	清掃
山梨	NPO法人 黒平自然の森学校	自然の魅力を伝えよう	学習
山梨	認定NPO法人 富士山クラブ	富士山地域での総合的な環境活動	自然
長野	NPO法人 F.O.P	里山森林と永続的に関わる場所づくり・育成	自然
長野	花仲間	町にある5つの花壇に植栽・管理	植栽
長野	フレンドツリーサポーターズ	森林整備活動	自然
長野	沖1班有志会	国道沿い緑地帯・歩道を清掃	清掃
長野	上横道自治会	県道傍陽～菅平線他の草刈り清掃	清掃

## 中部・東海

都道府県	助成先団体名	活動内容	分野
岐阜	NPO法人 竹林救援隊	竹林の間伐と放置を無くす啓発	自然
岐阜	いびNPO法人 連絡協議会	クリーン作戦といび地域環境塾	清掃
岐阜	生田川マモロード会	河川敷を地域住民で清掃	清掃
岐阜	加子母木匠塾	木造建築を林業から学び技術継承	自然
静岡	MORE企画	海、山、川、街の清掃と啓蒙	自然
静岡	NPO法人 熱海キコリーズ	熱海市を中心に森林保全	自然
静岡	江川邸竹灯り実行委員会	放置竹林の解消と伐採竹を活用	自然
静岡	認定NPO法人 時ノ寿の森クラブ	社会の共有財産として森林を保全	自然
静岡	NPO法人 桶ヶ谷沼を考える会	希少な野生動植物種の保護・保全	野生
静岡	静岡・海辺づくりの会	静岡海岸・周辺の自然環境を保全	清掃
静岡	NPO法人 浜松市東地域の自然と文化を残そう会	地元で自然啓蒙&山で植樹	自然
静岡	二ツ池櫻と蓮の保勝会	二ツ池周辺の緑化環境整備	植栽
静岡	ふあんふカンパニー	皆のふるさと里山を守り命豊かに	自然
静岡	シュガーファミ	花と公園を楽しむ	植栽
静岡	NPO法人 地域活性スクランブルフォーラム	三島せせらぎミニ発電コンテスト	学習
静岡	Clean Vibes	後世のためにまちを綺麗にする	清掃
静岡	とみつか未来塾	農作業と環境への取り組み	学習
静岡	興津川保全市民会議	自然の仕組みや役割を継承	学習
愛知	NPO法人 環境ボランティアサークル亀の子隊	きれいな海を守る心をひろげる	自然
愛知	一般社団法人 BUN-KAI	保育園裏の放置竹林を整備・活用	自然
愛知	間伐こもればい	都市型未利用木材をリサイクル	エコ
愛知	530運動環境協議会	530(ゴミゼロ)運動	清掃
愛知	徳重学区連絡協議会	地域の公共施設等の清掃・花植え	植栽

愛知	マー(ブ)ルクレヨン	廃棄物をマーブルクレヨンに再生	学習
愛知	がまごおり花フル会	観光の我が町を花で美しく	植栽
愛知	大口町北地域自治組織	地域の花壇の花植え	植栽
愛知	長根花の友の会	市内の道路沿いにゆりの花を植栽する	植栽
愛知	里山センチュリー	アイとわたで楽しく自然体験	学習
愛知	とよた自然わくわくクラブ	体験を通して自然の大切さを知る	学習
愛知	やろまいか!愛・地クリーン作戦実行委員会	やろまいか!愛・地クリーン作戦	清掃
三重	NPO法人 SEA藻	磯焼け要因生物(ウニ類)を駆除	自然
三重	ウミガメネットワーク三重	三重県におけるウミガメを保全	野生
三重	志摩夢まちサポーターズ	海岸、道路清掃	清掃
三重	NPO法人 美里水源の森を育む会	美里水源の森、放置林の健全化と地域社会との交流	自然

## 近畿

都道府県	助成先団体名	活動内容	分野
滋賀	NPO法人 国際ボランティア学生協会	琵琶湖外来水生植物を除去	自然
滋賀	NPO法人 やまんばんの会	次代へつなぐ力により里山を再生	自然
滋賀	白鳥川の景観を良くする会	白鳥川の環境整備と環境学習を支援	清掃
滋賀	NPO法人 花と観音の里	年間を通して花の咲いている街に	植栽
滋賀	一般社団法人 森林緑地菌類研究所	寄生植物クチナシグサを保全	野生
滋賀	徳山環境保全会	彼岸花球根を河川堤防に植栽	植栽
滋賀	葉山川環境美化推進委員会	葉山川環境美化を推進	清掃
滋賀	瓜生川桜の花路を楽しむ会	桜並木を造成	植栽
滋賀	一般社団法人 淡海を守る釣り人の会	釣り人が主体となって行う流域の方との琵琶湖清掃活動	自然
京都	関西ケリ研究会	ケリ幼鳥の生態解明と保全	野生
京都	大原のオオムラサキを守る会	オオムラサキ・地域の自然を保全	自然
京都	NPO法人 環境保全ネットワーク京都	ごみの削減・リサイクルを推進	エコ
京都	神吉下区集落活性化推進委員会	芝桜の植栽	植栽
大阪	チーム☆ガサ	大阪湾の自然環境を保護・保全	自然
大阪	みんなの広場気楽	生態系を守り新たな居場所作り	自然
大阪	寺みどり会	グラウンドと本通りの美化緑化	清掃
大阪	ゆめみヶ丘岸和田まちづくり協議会	テクノヒルズ沿線緑地を清掃	清掃
大阪	交野市妙見東自治会	妙見東町内環境改善事業	植栽
大阪	bioa	里とまちのための環境教育	学習
大阪	みさき里山クラブ	孝子の森の里山機能を保護・保全	自然
大阪	アジェンダ21すいた	市民みんなで楽しく温暖化を防止	エコ
大阪	NPO法人 大阪湾沿岸域環境創造研究センター	大阪湾における「アマモ場の育成」	自然
兵庫	NPO法人 Peace&Nature	グリーンリーダーを育成	学習
兵庫	NPO法人 里地里山問題研究所	地域支援型農業のモデルづくりと人材育成	自然
兵庫	森林ボランティア 菊炭友の会	茶道用(菊炭)生産の「炭窯更新」	学習
兵庫	NPO法人 神戸海さくら	須磨の豊かな海を守り育てる	自然
兵庫	NPO法人 奥播磨夢倶楽部	茅葺きの循環システムを体験	自然
兵庫	TANBA OUTDOOR ECOLOGY	水資源と河川・湖の生態系を維持	学習
兵庫	東お多福山草原保全・再生研究会	東お多福山ススキ草原の保全再生	自然
兵庫	うやま花の会	花と緑の街並みを維持管理	植栽

兵庫	食の未来を創る会	食と農を通じた環境保全	自然
兵庫	生野高原自治会 ハイキングロード整備プロジェクト	ハイキングロードの開拓・整備	自然
兵庫	播磨の木綿を復活させる会	播磨の木綿を復活させる活動	学習
兵庫	茶屋之町自治会	さくら並木低木帯への補植	植栽
兵庫	NPO法人 樹木研究会こうべ	「樹木の生き方」を啓蒙	エコ
兵庫	みなみ花だるま	学校ビオトープを再生し活用	学習
兵庫	山と人をつなぐ会	須磨アルプスの環境と山道を保全	自然
兵庫	網干公園みどりの会	公園の花壇づくり	植栽
兵庫	宝塚フレミラしぜんクラブ	自然との共生を子ども達に伝授	学習
奈良	NPO法人 なないろサーカス団	障害者施設の脱炭素活動と地域づくり	エコ
奈良	認定NPO法人 市民省エネ・節電所ネットワーク	仕組み「市民節電所」の普及	エコ
奈良	里山の山野草を守る会	自生山野草の保全と管理	野生
奈良	NPO法人 おおいわ結の里	里山の景観保全と花一杯の村作り	植栽
奈良	富雄団地共に支え合う会フラワークラブ	花壇の植栽による地域美化	植栽
奈良	クリーンリバー飛鳥	飛鳥川の河川敷のゴミ回収	清掃
奈良	一般社団法人 大和森林管理協会	陽楽の森における生物多様性を向上する活動	自然
和歌山	NPO法人 オーシャンゲート ジャパン	誰もが安全に黒潮の海を体験する	学習

## 中国・四国

都道府県	助成先団体名	活動内容	分野
鳥取	「椿の森」を後世に伝える会	椿の森の自然環境を保全	自然
鳥取	NPO法人 自然栽培そらみずち	自然と人の共働ある場を創出	自然
鳥取	グラウンドワーク大山蒜山	自然林の中の湧水池の環境を保全	自然
島根	馬路おこし会	「琴ヶ浜」鳴砂の保護・保全活動	自然
岡山	NPO法人 タブララサ	イベントの使い捨てごみを削減	エコ
岡山	つやま演劇教育研究会	演劇・番組製作を介した環境教育	エコ
岡山	真庭遺産研究会	日本産ハンザキを外来種から保護	野生
広島	木の駅八千代	里山の間伐をして山を元気に	自然
広島	プロジェクトチーム： ベイシティグリーンロード	歩道の清掃と植樹の除草と植花	植栽
山口	「山野草のエキ」保存会	350種の山野草が咲く森づくり	自然
山口	里山ローズクラブ	里山の整備保全及び資源の有効活用	自然
山口	棚田清流の会	地域内の休耕田に花を植栽	植栽
山口	NPO法人 NO BORDER	幸せを拾って人生を豊かに	清掃
山口	宇部市地球温暖化対策ネットワーク	子どもから家庭の省エネを推進	エコ
徳島	山城戦国国ざかいめぐりの会	国境に残る自然文化を保全・継承	自然
徳島	鳴門市花街道・地域づくりネットワーク	花と緑いっぱい街づくり	植栽
徳島	NPO法人 徳島県森の案内人ネットワーク	親子里山体験講座	学習
徳島	一般社団法人 花咲み	自然教育で環境の循環を体感	学習
香川	大野校区環境衛生組合協議会	船岡池堤防へ水仙球根を定植	植栽
愛媛	NPO法人 eワーク愛媛	フードバンク活動のネットワーク化	エコ
愛媛	NPO法人 今治シビックプライドセンター	『幸港のアマモを守る会』設立	自然
愛媛	NPO法人 かわうそ復活プロジェクト	肱川の魚図鑑を発行	自然
愛媛	はかた竹林リバイタルプロジェクト	放置竹林伐採で瀬戸内の景観保持	自然

愛媛	大町連合自治会	花いっぱい運動で地域を美しく	植栽
高知	一般社団法人 土佐清水ジオパーク推進協議会	地域美化活動	自然

## 九州・沖縄

都道府県	助成先団体名	活動内容	分野
福岡	認定NPO法人 改革プロジェクト	ランナーによる離島漂着ごみ回収プログラム	エコ
福岡	制服バンク福岡	処分される学生服の3R	エコ
福岡	NPO法人 はかた夢松原の会	花植で歩道の景観と安全性を向上	植栽
福岡	津古ふるさと会	津古地域、宝珠川流域の環境美化	植栽
福岡	二日市東コミュニティ運営協議会	地域のつながりを大切に	植栽
福岡	筑紫南コミュニティ運営協議会	街を花でいっぱい	植栽
福岡	大濠公園ガーデニングクラブ	大濠公園内の花壇を整備	植栽
福岡	NPO法人 遠賀川流域住民の会	芦屋海岸を清掃	清掃
福岡	ちとせコスモス街道	バイパス沿いにコスモスを咲かす	植栽
福岡	木守区	地域清掃と花苗の植栽	植栽
福岡	前原フラワーベルトの会	植樹と清掃	植栽
福岡	Pine tree garden 松崎花壇部	松崎駅前花壇を中心に景観を整備	植栽
福岡	博多新洗組	福岡市中洲エリアを美化	清掃
福岡	一般社団法人 ふくおか FUN	アマモ場をはじめ海洋環境を保全する活動	自然
佐賀	NPO法人 WeD	高校生が運営する海の環境保全	自然
佐賀	NPO法人 かいろう基山	里山の保全を図る環境保全活動	自然
長崎	team長崎シー・クリーン	軍艦島が映える海を守ろう！	学習
長崎	長崎大学海棲哺乳類研究室	長崎近海の鯨類の保全	野生
熊本	認定NPO法人 阿蘇花野協会	阿蘇の野の花を未来へ引き継ぐ	野生
熊本	NPO法人 坪井川遊水地の会	坪井川遊水地の清掃美化と植栽	植栽
熊本	エコ村伝承館	ものづくり体験を伴う環境学習	学習
大分	妙音山を守る会	陣屋の杜の緑の環境の再整備	自然
大分	NPO法人 エービーシー野外教育センター	ビーチ清掃とエコクラフト制作	学習
大分	フードバンク彩鳥	食品ロスの削減	エコ
大分	飯田高原野焼実行委員会	野焼きによる草原の景観や生物多様性の保全	自然
宮崎	道守みやざき会議	植栽・清掃・美化活動	植栽
宮崎	NPO法人 大淀川流域ネットワーク	絶滅危惧種を保全し良い川を継承する活動	自然
鹿児島	NPO法人 ゆいむすび実行委員会	奄美群島生物多様性環境保全	野生
鹿児島	学生団体のらねこ	種子島の海の豊かさを保全	自然
鹿児島	田代未来プロジェクト	地域内を花いっぱい	植栽
沖縄	認定NPO法人 よみたん自然学校	自然体験型フリースクール事業拡大	学習
沖縄	美浦シニアクラブ(泡瀬第一自治会所属)	地域内公園と学校の花植と草刈り	植栽
沖縄	ホロホローの森未来づくり協議会	森と海岸を保全、整備する活動	自然

## 全国

都道府県	助成先団体名	活動内容	分野
全国	NPO法人 海辺つくり研究会	沿岸域環境の保全・再生・創出や自然と共生する海辺つくりに関する事業	自然
全国	一般社団法人 日本環境NPOネットワーク	環境NPOリーダー海外研修生が設立した全国規模のネットワーク組織の運営を支援	リーダー

# セブン-イレブン記念財団の「32年のあゆみ」

※団体名は現在の名称です。 ※セブンの森の一覧は、10ページをご覧ください。

## 1993年(平成5年)

11月 ▶ セブン-イレブンみどりの基金設立



## 1994年(平成6年)

- 2月 ▶ 全国5,300店のセブン-イレブンに各店1個の募金箱を設置
- 3月 ▶ (財)国立公園協会「自然公園快適環境づくり助成事業」開始
  - ▶ 富士山地域美化推進事業・尾瀬地区への特別助成開始
  - ▶ (財)都市緑化基金「緑と花のスポットガーデン助成事業」開始
  - ▶ (公財)ボーイスカウト日本連盟「スカウトの日・カントリー大作戦」に助成開始

## 1995年(平成7年)

- 1月 ▶ (財)日本グラウンドワーク協会を通じた一般公募助成制度開始
- 3月 ▶ 「地球にやさしい作文・活動報告コンテスト」協賛開始

## 1996年(平成8年)

- 8月 ▶ 「活動報告書」「活動報告ビデオ」制作開始
  - ▶ 神奈川県鎌倉市「若宮大路グリーン・クリーン運動」へ活動助成開始
  - ▶ 九州地区「ラブアース・クリーンアップ」へ活動助成開始



1996年度活動報告書

## 1997年(平成9年)

- 5月 ▶ 「札幌大通公園花壇」出展

## 1998年(平成10年)

- 8月 ▶ 「富士山地域の清掃活動」に(株)セブン-イレブン・ジャパン社員参加、以降毎年継続

## 1999年(平成11年)

- 3月 ▶ 募金箱を各店2個の設置に変更
- 7月 ▶ 「北海道森林マラソン(現:北海道森林スポーツフェスタ)」への特別協賛開始(第2回)

## 2000年(平成12年)

- 4月 ▶ 認定NPO法人富士山クラブを通じ、「富士山環境保全支援プラン」助成開始
- 7月 ▶ ホームページ開設
  - ▶ 「セブン-イレブンデー全国一斉清掃活動」に軍手提供
  - ▶ 「びわ湖滋賀県下一斉清掃活動」に軍手提供
- 10月 ▶ 「日光杉並木オーナー制度」に加入し杉並木保護・保全活動開始
  - ▶ 林野庁と「巨樹・巨木保護活動」を推進

## 2001年(平成13年)

- 4月 ▶ 「環境市民ボランティア活動助成制度(現:環境市民活動助成制度)」開始
- 8月 ▶ 認定NPO法人富士山クラブの富士山山頂バイオトイレ設置事業を支援



富士山山頂バイオトイレ  
杉チップ投入

## 2002年(平成14年)

- 2月 ▶ 「環境ボランティアリーダー海外研修制度(現:環境NPOリーダー海外研修制度)」開始
- 8月 ▶ 「ボランティアスタッフ制度」運用開始
- 10月 ▶ 広島市内4カ所に「パートナー花壇」出展
  - ▶ (財)都市緑化基金より都市緑化功労者として感謝状を授与される
- 11月 ▶ 「九州森林マラソン(九州森林スポーツフェスタ)」特別協賛開始(第1回)
- 12月 ▶ 「霧多布湿原保全活動」として北海道の認定NPO法人霧多布湿原ナショナルトラストとパートナーシップ協定を結び、湿原150haの保護・保全活動開始



2002年2月  
第1回海外研修オーストラリア

## 2003年(平成15年)

- 4月 ▶ BSハイビジョン放送で環境市民ボランティア団体紹介番組を提供
  - ▶ (株)セブン-イレブン・ジャパンビル内にみどりの基金事務局開設
- 7月 ▶ 環境市民ボランティア団体7団体とパートナーシップ協定締結
- 12月 ▶ 「北海道学生環境ボランティア支援制度」開始

## 2004年(平成16年)

- 5月 ▶ (公財)ボーイスカウト日本連盟より特別感謝章を授与される
- ▶ 「ラブアース・クリーンアップ in 北海道」への支援開始

## 2005年(平成17年)

- 3月 ▶ 広報誌「みどりの風」創刊
- 4月 ▶ 会報「みどりの基金だより」創刊
- 5月 ▶ 「自然環境保護・保全活動にかかる調査研究助成」開始
- 6月 ▶ 「日独ファンドレイジング(資金調達)・シンポジウム」を名古屋市で開催
- 8月 ▶ 「トキこども大使」を新潟県佐渡島に派遣開始



広報誌「みどりの風」創刊号

## 2006年(平成18年)

- 5月 ▶ (株)セブン・カードサービスのポイントチャリティ開始
- 9月 ▶ 「支笏湖周辺台風災害・復興の森づくり」開始



トキこども大使



2006年9月17日  
第1回のメインデーには  
1,225名の市民が参加

## 2007年(平成19年)

- 4月 ▶ 「九重ふるさと自然学校」開校
- ▶ 認定NPO法人霧多布湿原ナショナルトラストより感謝状を授与される
- 8月 ▶ (公財)日光杉並木保護財団より感謝状を授与される
- 12月 ▶ 「平成19年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰」受賞



2007年4月21日  
九重ふるさと自然学校開校

## 2008年(平成20年)

- 11月 ▶ 「三宅島緑化プロジェクト」開始
- ▶ 「海辺の自然再生・高校生サミット」協賛開始(第1回神奈川県)



2008年11月1日  
第1回「三宅島緑化プロジェクト」

## 2009年(平成21年)

- 5月 ▶ 「支笏湖周辺台風災害・復興の森づくり」の活動に対し、「国民の森林づくり推進功労者」として林野庁長官より感謝状を授与される
- 8月 ▶ 「学校の森・子どもサミット」に協賛開始(第3回四国)

## 2010年(平成22年)

- 2月 ▶ 東京都と「東京の緑を守ろうプロジェクト」に関する協定を締結
- 3月 ▶ 一般財団法人セブン-イレブン記念財団設立
- 5月 ▶ 国連の生物多様性条約事務局の「グリーンウェイ」に苗木提供開始



2010年2月17日  
「東京の緑を守ろうプロジェクト」に関する協定締結式

## 2011年(平成23年)

- 6月 ▶ 「東京湾再生アマモプロジェクト」開始
- ▶ 「東日本大震災復興プロジェクト」開始
- 11月 ▶ 「里地里山プロジェクト」開始
- ▶ (株)セブン・カードサービスの「nanacoポイント募金」開始



2011年6月11日 第1回  
「東日本大震災復興プロジェクト」

## 2012年(平成24年)

- 2月 ▶ 「脱炭素チャレンジカップ(旧名称:低炭素杯)」共催開始
- 3月 ▶ 「東北に緑を!セブン-イレブンプロジェクト」開始
- ▶ 「森林保全プロジェクト」開始
- ▶ 森林の再生「千葉セブンの森」づくり開始

## 2013年(平成25年)

- 3月 ▶ 九重ふるさと自然学校と学校法人文理学園日本文理大学が「学生のボランティア活動およびインターンシップ推進に関する協定」を締結
- 5月 ▶ 東京都立日比谷公園で開催する「森と花の祭典-みどりの感謝祭」に出展開始(第13回)
- ▶ 「生物多様性アクション大賞」共催開始(第1回)
- 11月 ▶ 「東京湾再生官民連携フォーラム」に協力
- ▶ 20周年記念誌「わたしの里山物語」発行



20周年記念誌  
「わたしの里山物語」発行

## 2014年(平成26年)

- 3月 ▶ 九重ふるさと自然学校の「生きもの育む自然共生型田んぼづくり」が、国連生物多様性の10年日本委員会連携事業に認定
- 6月 ▶ 東京都と「民間主体との協働による緑地保全モデル事業に関する協定」を締結
- 7月 ▶ 「セブンの森」の間伐材を利用した木製募金箱を設置開始

## 2015年(平成27年)

- 4月 ▶ 高尾の森自然学校開校  
▶ 「森のようちえん全国交流フォーラム」特別協賛開始(第11回)
- 11月 ▶ 国連生物多様性の10年日本委員会(UNDB-J)より感謝状を授与される



2015年4月10日  
高尾の森自然学校開校

## 2016年(平成28年)

- 4月 ▶ 東日本大震災復興プロジェクトとして、「宮城セブンの森」づくり開始

## 2017年(平成29年)

- 5月 ▶ ホームページのスマートフォン対応開始
- 7月 ▶ 海事関係功労者表彰港湾空湾功労(振興発展)に表彰
- 10月 ▶ (一財)みなと総合研究財団主催「東京湾海の環境再生賞」の「国土交通大臣賞」を授与される  
▶ 森林整備・保全活動「長野セブンの森」づくり開始
- 11月 ▶ 森林整備・保全活動「福井セブンの森」づくり開始



2017年7月21日 海事関係功労者  
表彰港湾空湾功労(振興発展)に表彰

## 2018年(平成30年)

- 5月 ▶ (株)セブン・ペイメントサービスのセブン銀行ATM「現金受取サービス」募金開始
- 6月 ▶ 海の再生「阪南セブンの海の森」づくり開始  
▶ 河畔林の再生「茨城セブンの森」づくり開始
- 9月 ▶ 湿原の保全「霧多布セブンの森」づくり開始
- 12月 ▶ 25周年記念誌「『江戸しぐさ』に学ぶ おもてなしのころ」発行



2018年6月1日  
「阪南セブンの海の森」  
大阪府阪南市と調印



「江戸しぐさ」に学ぶ  
おもてなしのころ 発行

## 2019年(平成31年/令和元年)

- 4月 ▶ 狭小店舗用の募金箱設置
- 10月 ▶ 「環境市民活動助成」PDFフォームでの申請受付開始
- 11月 ▶ 琵琶湖の保全活動「滋賀セブンの森」づくり開始

## 2020年(令和2年)

- 3月 ▶ 新型コロナウイルス感染拡大に伴う、環境市民活動助成特別措置の実施
- 4月 ▶ 森林整備・保全活動「山梨セブンの森」づくり開始
- 6月 ▶ セブンマイルプログラム「貯まったマイルを寄付」開始
- 9月 ▶ 「環境市民活動助成」ご案内ビデオ制作  
▶ 「環境市民活動助成」助成金セミナーオンライン開催
- 10月 ▶ 松島湾復興支援活動「塩竈セブンの海の森」づくり開始(7月協定締結)
- 11月 ▶ 「グリーンインフラ・ネットワーク・ジャパン全国大会」協賛開始(第1回)  
▶ 九重ふるさと自然学校が「青少年の健全育成に尽力」していることを認められ、大分県知事より感謝状、大分県青少年育成県民会議より表彰状を授与される



2020年7月27日  
「塩竈セブンの海の森」協定式記念写真

## 2021年(令和3年)

- 2月 ▶ 森林整備・保全活動「三重セブンの森」づくり開始(協定更新)
- 3月 ▶ 環境省大臣官房総合政策課及び一般社団法人環境パートナーシップ会議の三者と「環境保全及び協働取り組みに関する協力協定」を締結  
▶ 海と森林の再生「館山セブンの海の森」づくり開始  
▶ (株)セブン・グローバルレミットが提供する海外送金サービス「Sentry」からの募金開始
- 5月 ▶ NPO法人 海辺つくり研究会と「自然と人間が調和・共生する海辺つくり事業基本協定」を締結
- 6月 ▶ 草原の保全「大分セブンの森」づくり開始
- 7月 ▶ セブン-イレブン記念財団のホームページリニューアルを実施  
▶ 「明日にいいこと。つなげる、つづける。」“セブンの森、セブンの海の森”を日本経済新聞(7月7日)に掲載  
▶ 「明日にいいこと。つなげる、つづける。」“セブンの森、セブンの海の森”のテレビCM放映  
▶ セブン-イレブン店舗にあるセブン銀行ATMからの募金開始



2021年3月24日  
「館山セブンの海の森」協定式記念写真



日本経済新聞(2021年7月7日)掲載

- 9月 ▶「環境市民活動助成」WEBシステムでの申請受付開始
- 10月 ▶海の再生「青森セブンの海の森」づくり開始
  - ▶ 阪南セブンの海の森活動が、「阪南市制施行30周年記念事業」にて感謝状を授与される
- 12月 ▶セブン-イレブンのサステナブルギフトからの寄付開始



2021年10月9日  
「青森セブンの海の森」協定式記念写真

- 11月 ▶セブン-イレブン記念財団設立30周年(20日)
  - ▶ セブン-イレブン記念財団ロゴの商標登録を実施
  - ▶ 設立30周年SDGs記念バッジを加盟店に配布



設立30周年  
SDGs記念バッジ

## 2022年(令和4年)

- 7月～11月 ▶レジ袋収益金を活用した(公財)ボーイスカウト日本連盟との全国一斉清掃活動「プラごみバスターズ大作戦」実施(7/11～11/7)
- 11月 ▶河畔林の再生「埼玉セブンの森」づくり開始
  - ▶ (公財)ボーイスカウト日本連盟創立100周年記念式典にてセブン-イレブン記念財団が特別表彰を受賞



2022年11月9日  
「埼玉セブンの森」協定式  
記念写真



2022年11月26日  
ボーイスカウト日本連盟  
創立100周年記念式典にて

## 2023年(令和5年)

- 3月 ▶セブン-イレブン記念財団設立30周年ロゴ・メッセージ・スローガンを制定
  - ▶ 設立30周年店頭募金お礼シールを制作し、全国の店頭募金箱に掲示
- 4月 ▶環境省自然環境局および地域の活動団体とともに『国立公園の環境保全活動に関する協力協定書』を締結
- 5月 ▶設立30周年記念としての「活動報告ビデオ」「活動報告とご案内」「ホームページ」を制作
- 6月 ▶森林の保全「奈良セブンの森」づくり開始
  - ▶ 広報誌「みどりの風」夏の特別子ども号「みつけた！ビックリ！発見の夏」を制作
- 8月 ▶一般社団法人RQ災害教育センターと「災害時における被災地支援に関する連携」について協定締結
- 9月 ▶助成制度合同セミナーを会場参加とオンライン参加のハイブリット形式で開催
- 10月 ▶環境省が取組む「自然共生サイト」にセブン-イレブン記念財団『阪南セブンの海の森』が認定



設立30周年  
ロゴ・スローガン



店頭募金  
お礼シール

## 2024年(令和6年)

- 2月 ▶「森・里・川・海と人々をつなぐ 脱炭素・生物多様性フォーラム」開催
  - ▶ 「全国海の再生・ブルーインフラ賞」審査委員会特別賞受賞



2024年2月15日  
「森・里・川・海と人々をつなぐ  
脱炭素・生物多様性フォーラム」

## 2025年(令和7年)

- 2月 ▶庄内セブンの森協定締結
- 4月 ▶高尾の森自然学校が未来の環境人材育成の場「環境アカデミー」開校
  - ▶ 目録贈呈式
- 6月 ▶海の再生「福岡セブンの海の森」づくり開始
- 7月 ▶「第15回草原サミット・シンポジウム in ここのえ プレイベント」へ協賛
  - ▶ 「九重ふるさと自然学校」大規模改修工事 着工
- 8月 ▶「PayPayキャッシュレス募金」受付開始
- 9月 ▶「自然共生サイト」に高尾の森自然学校が認定
- 10月 ▶「2025国際首長フォーラム」へ協賛
  - ▶ 水辺の保護「宮崎セブンの水辺の森」づくり開始
- 12月 ▶「小さな自然再生サミット2025京都大会」へ協賛
  - ▶ 森と海を守る「沖縄セブンの海の森」づくり開始



2025年2月5日  
「庄内セブンの森」協定式記念写真

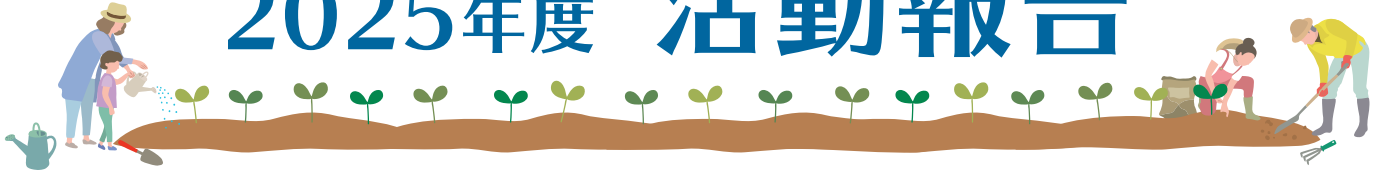


「自然共生サイト」認定証

## 2026年(令和8年)

- 2月 ▶湿地生物保護「長崎セブンの森」づくり開始
  - ▶ 募金箱ステッカーを変更

# 2025年度 活動報告



## 2025年

3月	29日	2024年度店頭募金総額ポスター加盟店 掲示開始(3/17~4/13)
	29日	第18回「佐賀セブンの森」 63名参加 竹林整備
4月	5日	第11回「山梨セブンの森」 70名参加 植樹(27本)、育木活動
	12日	第6回「埼玉セブンの森」 80名参加 ツル性植物の除去、竹林整備
	12日	第4回「奈良セブンの森」 179名参加 竹林整備
	19日	第23回「広島セブンの森」 168名参加 植樹(300本)、間伐
5月	10日	第42回「高尾セブンの森」 86名参加 間伐、下刈り
	11日	第9回「館山セブンの海の森」 74名参加 沖ノ島整備
	17日	第14回「長野セブンの森」 75名参加 森散策
	18日	第12回「滋賀セブンの森」 156名参加 湖畔清掃、小さな自然再生
	24日	第23回「宮城セブンの森」 45名参加 植樹(30本)、 苗木保護資材補修
	25日	第8回「大分セブンの森」 95名参加 外来種駆除
	31日	第4回「霧島錦江湾国立公園」 77名参加 干潟の耕うん、生きもの観察
6月	7日	第7回「青森セブンの海の森」 46名参加 座学、海岸清掃、生きもの観察
	7日	第11回「福井セブンの森」 50名参加 下刈り、竹林整備
	7日	第1回「福岡セブンの海の森」 153名参加 アマモの再生、生きもの観察
	14日	第10回「塩竈セブンの海の森」 98名参加 アマモの花枝採取、 生きもの観察

## 2025年

6月	15日	第14回「阪南セブンの海の森」 171名参加 海岸清掃、アマモの再生活動
	18日	第12回「えりも岬セブンの森」 250名参加 植樹(607本)
	21日	第1回「庄内セブンの森」 153名参加 刈草、集草、木道設置、 外来種駆除
	28日	第10回「霧多布セブンの森」 47名参加 植樹(150本)、 食害対策ネット取付
7月	8日	第3回「日光国立公園」 47名参加 外来種駆除
8月	1日	2026年度 環境市民活動助成 ポスター掲示開始(8/1~8/31)
	2日	第15回「三重セブンの森」 63名参加 伐採木処理、遊歩道整備
	3日	第15回「全国草原サミット・シンポジウム in ここのえ」プレイベントに協賛
	5日	第2回「磐梯朝日国立公園」 47名参加 外来種駆除
9月	1日	2026年度 環境市民活動助成受付開始 地域美化助成(受付期間9/1~10/31) 未来へつなごう助成・活動助成・NPO基 盤強化助成(受付期間9/15~10/31)
	6日	第7回「青森セブンの海の森」 40名参加 海岸清掃、生きもの観察、 アマモの播種
	6日	「富士山清掃活動」 197名参加 海岸清掃
	7日	第8回「大分セブンの森」 88名参加 下草除去
	15日	公益財団法人ボーイスカウト連盟 「スカウトの日」を協賛
	20日	第4回「霧島錦江湾国立公園」 71名参加 耕うん作業、生きもの観察
	21日	第10回「館山セブンの海の森」 106名参加 沖ノ島整備、土壌改善

## 2025年

9月	27日	第18回「佐賀セブンの森」 65名参加 竹林整備
	28日	「北海道森林スポーツフェスタ2025 in 支笏湖」に特別協賛
10月	4日	第11回「霧多布セブンの森」 82名参加 海岸清掃
	4日	第14回「長野セブンの森」 82名参加 下刈り
	4日	第1回「宮崎セブンの水辺の森」 213名参加 下刈り
	11日	第24回「宮城セブンの森」 47名参加 植樹(30本)、苗木保護資材補修
	11日	第5回「奈良セブンの森」 147名参加 竹林整備
	14日	2025国際首長フォーラムに協賛
	18日	第2回「庄内セブンの森」 83名参加 湿原の保護保全活動
	18日	第15回「三重セブンの森」 66名参加 伐採木の搬出、薪づくり
	25日	第38回「高尾セブンの森」 144名参加 下刈り
	27日	第13回「えりも岬セブンの森」 133名参加 枝打ち
11月	1日	第20回「森のようちえん全国交流フォーラム in 青森」に協賛

## 2025年

11月	1日	「海辺の自然再生高校生サミット2025 in よこすか」に協賛
	2日	第2回「福岡セブンの海の森」 159名参加 アマモの種選別、播種
	8日	第11回「塩竈セブンの海の森」 66名参加 アマモの種選別、播種
	8日	第11回「山梨セブンの森」 82名参加 伐採した枯木処理、下刈り
	9日	第14回「阪南セブンの海の森」 99名参加 アマモの播種、海岸清掃
12月	6日	第1回「沖縄セブンの海の森」 131名参加 海岸清掃
	7日	第2回「小さな自然再生サミット 2025 京都大会」に協賛
	13日	第1回「東京湾藻場再生活動」 70名参加 藻場再生

## 2026年

2月	14日	第1回「長崎セブンの森」 66名参加 猪防護柵設置
	20日	第16回「脱炭素チャレンジカップ 2026」に協賛

## トピックス 2025年11月1日～2日

### 「海辺の自然再生・高校生サミット 2025 in よこすか」に協賛

セブン-イレブン記念財団は『海辺の自然再生・高校生サミット2025inよこすか（主催：海辺つくり研究会／共存の森ネットワーク）』を協賛いたしました。

本サミットは、「アマモ場」の再生活動をはじめとする様々な海辺の自然再生や生態系の保全関連の活動に取り組む全国各地の高校生が横須賀に集い、活動成果を発表・意見交換をしました。各校高校生らしい柔らかな発想で活動に取り組み、会場の有識者をうならせるような発表が繰り広げられました。この会議で共有された情報は、高校生たちやそれを支援する地域の方々の今後の自然再生活動に活かされていくことでしょう。



# 2025年度(令和7年度)貸借対照表

2026年(令和8年)2月28日現在

(単位:円)

科目	金額
<b>I 資産の部</b>	
1. 流動資産	
(1) 現金預金	2,317,997,536
(2) 未収金	37,146
(3) 貯蔵品	100,890
(4) 立替金	-
(5) 仮払金	49,550
流動資産合計	2,318,185,122
2. 固定資産	
(1) 基本財産	
譲渡性預金	300,000,000
基本財産合計	300,000,000
(2) 特定資産	
土地	12,830,251
特定資産合計	12,830,251
(3) その他固定資産	
建設仮勘定	6,062,737
建物	7,987,759
建物附属設備	7,266,609
構築物	27,428,631
機械装置	1,394,179
車両	4
什器備品	1,036,566
土地	26,991,164
ソフトウェア	1,507,001
リサイクル預託金	29,650
その他固定資産合計	79,704,300
固定資産合計	392,534,551
資産合計	2,710,719,673
<b>II 負債の部</b>	
1. 流動負債	
(1) 所得税預り金	158,058
(2) 社会保険預り金	1,160,476
(3) 雇用保険預り金	300,568
(4) 住民税預り金	-
(5) 未払金	120,204
(6) 未払費用	1,520
(7) 前受金	6,000
(8) 職員立替金	8,568
(9) 賞与引当金	7,199,000
流動負債合計	8,954,394
負債合計	8,954,394
<b>III 正味財産の部</b>	
1. 指定正味財産	12,664,615
(うち特定資産への充当額)	(12,664,615)
2. 一般正味財産	2,689,100,664
(うち基本財産への充当額)	(300,000,000)
(うち特定資産への充当額)	(165,636)
正味財産合計	2,701,765,279
負債及び正味財産合計	2,710,719,673

# 2025年度(令和7年度)正味財産増減計算書

2025年(令和7年)3月1日から  
2026年(令和8年)2月28日まで

(単位:円)

科目	金額
<b>I 一般正味財産増減の部</b>	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
募金収益	
店頭募金収入	493,748,085
その他の募金	13,348,107
募金収入合計	507,096,192
寄付金収益	
セブン-イレブン本部寄付金収入	163,874,962
その他寄付金収入	8,576,926
寄付金収入合計	172,451,888
その他の収益	
前年度助成残余金返還額	14,772,558
東京事務局事業収入	0
九重ふるさと自然学校事業収入	948,647
高尾の森自然学校事業収入	2,248,482
受取利息	5,156,654
その他	29,624
その他の収益合計	23,155,965
経常収益計	702,704,045
(2) 経常費用	
事業費	
公募助成事業費	154,447,882
地域活動支援事業費	21,724,392
自然環境保護・保全事業費	175,335,555
災害復興支援事業費	1,144,216
広報事業費	69,336,016
事業費合計	421,988,061
管理費	
給与手当	45,591,554
法定福利費	8,855,667
退職給付費用	4,252,215
旅費交通費	6,299,337
ボランティア活動支援費	705,290
理事会等関係費	4,786,504
募金箱関連備品制作費	20,967,353
その他	7,816,450
減価償却費	1,146,812
賞与引当金繰入額	8,109,000
管理費合計	108,530,182
経常費用計	530,518,243
当期経常増減額	172,185,802
2. 経常外増減の部	
(1) 経常外収益	
固定資産売却益	19,999
経常外収益計	19,999
(2) 経常外費用	
寄付金	0
経常外費用計	0
(3) 特別損失	
固定資産除却損	0
特別損失計	0
当期経常外増減額	19,999
当期一般正味財産増減額	172,205,801
一般正味財産期首残高	2,516,894,863
一般正味財産期末残高	2,689,100,664
<b>II 指定正味財産増減の部</b>	
土地受贈益	675,000
当期指定正味財産増減額	675,000
指定正味財産期首残高	11,989,615
指定正味財産期末残高	12,664,615
<b>III 正味財産期末残高</b>	2,701,765,279



## 概要

- 名称** 一般財団法人 セブン-イレブン記念財団
- 理事長** 太田敏夫 (セブン-イレブン富士吉田おひめ坂通り店オーナー)
- 事業目的** 環境をテーマに社会貢献活動に取り組む
- 事業内容** 環境市民活動支援事業 / 自然環境保護・保全事業 / 災害復興支援事業 / 広報事業
- 事業資金** お店に寄せられた募金と(株) セブン-イレブン・ジャパン、企業、団体、個人の皆様からの寄付金
- 設立日** 1993年(平成5年)11月20日(セブン-イレブンみどりの基金)
- 事業開始日** 1994年(平成6年)3月1日(セブン-イレブンみどりの基金)
- 財団設立日** 2010年(平成22年)3月1日



一般財団法人 **セブン-イレブン記念財団**  
 〒102-8455 東京都千代田区二番町8番地8  
 TEL:03-6238-3872 FAX:03-3261-2513  
<https://www.7midori.org>



本誌は森林保全活動に配慮した FSC® 認証紙を使用しています。



本誌は環境に配慮した植物油インキを使用しています。